

心を豊かにする図書館 をめざして

平成18年度
小平市立図書館事業概要

平成19年10月

小平市立図書館

はじめに

昨年度からタイトルを一新して新たなスタートを切った図書館事業概要が、2年目を迎えます。

市民の方々に図書館サービスの内容を理解していただくために、わかりやすく説明することを心がけて資料作成に努めたところです。今年度はさらに見やすいものにするために図表を増やし、統計の見直しと再編成を行いました。

平成18年度は花小金井図書館の新築移転という大きな事業を実施するとともに、学校図書館との連携が飛躍的に促進できた年でもありました。

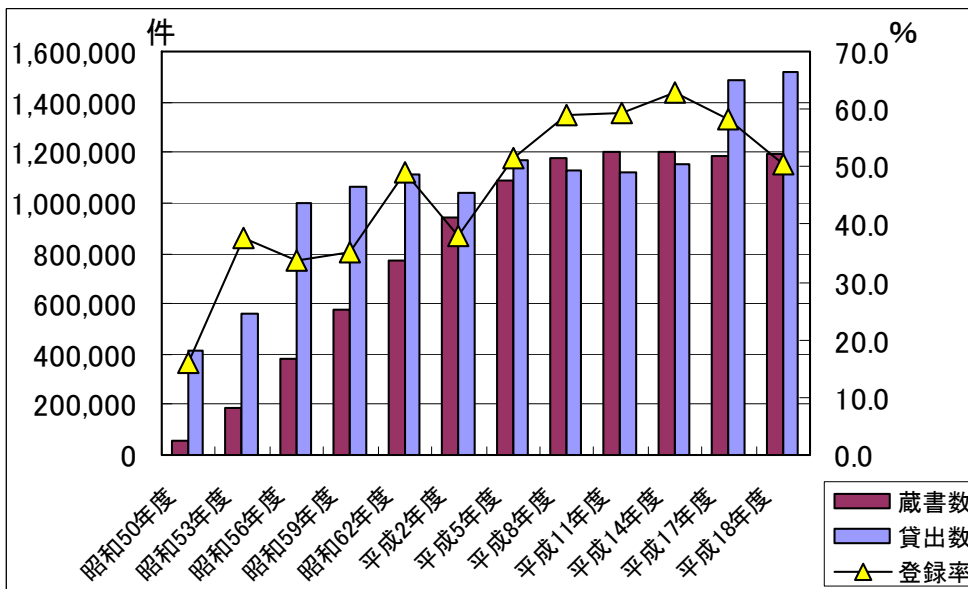
花小金井図書館は、「花小金井駅北口都市基盤整備事業」に伴う事業として新築移転したもので、5月8日（月）にリニューアルオープンしました。小平市東部地域の拠点館としての期待を担い、新館開館以来利用が順調に伸びて活況を呈しており、平成18年度の貸出資料数は平成17年度を上回りました。

学校図書館との連携としては、中央図書館に新たに学校図書館相談員2名を配置して市内27校の小・中学校の学校図書館を巡回し、学校図書館運営や蔵書点検の支援を行いました。また、年度途中ではありますが、11月からは文部科学省の委託事業を受けて学校図書館支援センター推進事業に取り組み、中学校全校に図書館協力員を配置するとともに、小・中学校の教科学習を支援するための図書配送システムの運行実証を行いました。

さらに、平成18年度には、「図書館サービス計画」で目標としていた年間貸出数150万件を超えたことは、小平市立図書館32年間の歴史の中で画期的な出来事でした。

一つの目標を達成したといっても、まだまだ多くの課題が山積しています。中でも『これからの図書館像』に示されている課題解決型のサービスへの取り組みは、根幹的で重要な課題です。今後の積極的な事業展開にご期待いただくとともに、ご支援をお願いします。

【図1】 登録率・蔵書数・貸出数の推移



目次

はじめに	1
目次	2
図書館事業体制	
1. 図書館配置図	4
2. 施設概要	4
3. 事務分掌	5
4. 予算概要	7
図書館事業計画（平成18年3月30日決定）	
はじめに	8
1. 目標	8
2. 事業計画	9
この一年間の事業の成果	
1. 図書館協議会の開催	13
2. 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用	14
3. 地域情報基盤の整備	14
4. (新)花小金井図書館の開館	14
5. 仲町図書館建て替えのための検討	14
6. 広域利用の推進	15
7. 図書資料等の収集・整理・保存・貸出	16
8. 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出	18
9. 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化	19
10. レファレンス業務	22
11. 講座等の開催	23
12. 展示会等の開催	24
13. 児童サービス	24
14. 小・中学校との連携	26
15. 障がい者・高齢者サービス	26
16. 複写サービス	27
17. リクエストサービス	28
18. 図書館関係団体に対する援助・連携	28
19. 図書清掃の実施	29
20. 施設の運営管理	29
21. 蔵書管理	30
22. 職員研修機会の拡充	32
23. 実習生及び視察等の受け入れ	33
24. 広報活動	34
25. 図書館ボランティアの参加推進	35

26. 学校図書館支援センター推進事業	35
---------------------	----

地区図書館の事業の成果

1. 仲町図書館	37
2. 花小金井図書館	38
3. 小川西町図書館	39
4. 喜平図書館	39
5. 上宿図書館	40
6. 津田図書館	41
7. 大沼図書館	41

参考資料

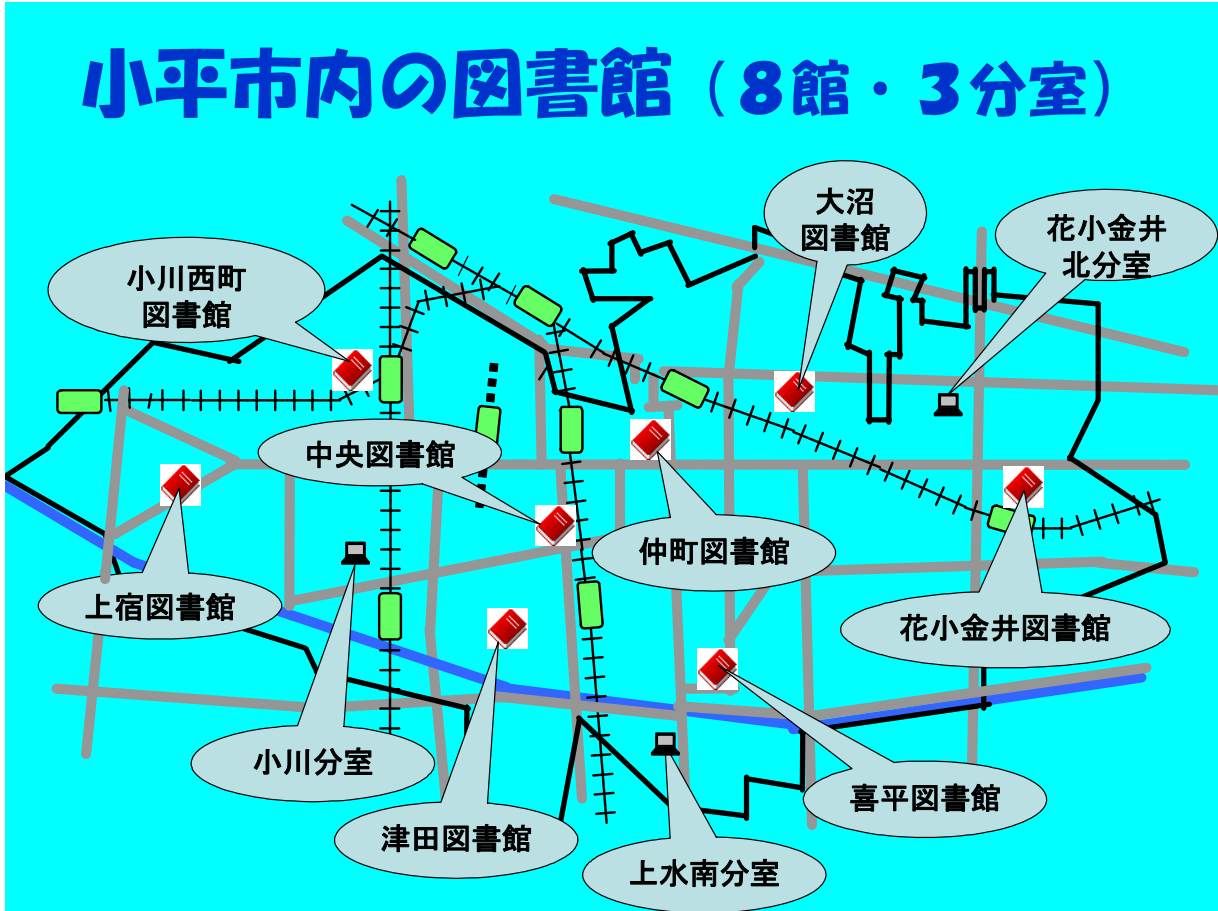
資料1. 小平市図書館協議会 「創造性の高い仲町図書館の開設に向けて（提言）」	44
資料2. 学校図書館支援センター推進事業 平成18年度中間報告書	51
資料3. 平成18年度小平市立図書館統計	57
資料4. 小平市子ども文庫連絡協議会事業報告	89

図書館事業体制

1. 図書館配置図

【図2】 小平市内の図書館配置図

(平成 18 年 4 月 1 日現在)



2. 施設概要

【表1】 小平市立図書館施設概要

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

(単位㎡)

		中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館
床面積	延床面積	4,703.555	1,141.080	1,661.890	1,971.218	1,156.450	932.240	1,299.950	1,422.140
	地階	1,582.684	25.980	-	-	-	-	-	-
	1階	968.184	363.330	762.330	1,056.290	610.200	465.400	1,299.950	1,422.140
	2階	1,042.275	369.790	630.970	914.928	546.250	466.840	-	-
開架施設	延開架面積	1,543.984	505.450	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	一般開架室	1,301.250	197.160	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
お話室	参考室	242.734	109.350	-	-	-	-	-	-
	児童室	-	198.940	-	-	-	-	-	-
お話室		37.429	28.960	43.200	37.194	37.038	30.880	28.300	48.220

閉架	閉架書庫	406.324	51.030	61.020	50.812	49.720	62.260	37.120	65.470
	古文書庫等	142.319	-	-	-	-	-	-	-
事務用施設	事務室	203.372	77.360	99.000	78.031	65.930	72.120	51.860	89.480
	会議室	66.591	48.780	-	-	-	-	-	-
	作業室	71.381	-	-	-	19.290	-	-	-
	職員休憩室	70.037	28.960	19.350	36.618	36.925	34.050	24.700	-
	応接室	22.678	-	-	-	(約 5.63)	8.400	11.520	-
	更衣室	23.963	-	-	2.860	(約 1.72)	1.640	-	-
	倉庫	116.452	-	12.000	-	28.425	17.650	-	9.260
共用施設	玄関	36.761	-	29.410	25.497	26.748	14.840	-	29.810
	便所	116.925	-	49.590	30.511	57.477	62.560	-	37.680
	エレベーター、階段、廊下	426.494	-	117.310	119.808	147.810	109.300	-	-
管理施設	機械室	439.317	95.690	17.680	16.838	9.084	8.000	24.320	-
	警備員室	-	-	-	-	3.000	3.200	-	-
	委託員控室	14.772	-	11.400	-	9.648	5.440	-	14.870
集会室	-	-	-	-	150.090	101.000	-	-	
その他	964.756	304.850	1.520	53.628	8.600	12.570	16.330	108.350	
図書館専有床面積	4,703.555	1,141.080	899.560	994.888	1,156.450	932.240	686.930	646.770	

3. 事務分掌

【表2】 小平市立図書館事務分掌

(平成19年4月1日現在)

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の総合計画の企画・立案及び調整に関すること。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。 ○ 図書館職員の研修に関すること。 ○ 公印の管守に関すること。 ○ 図書館情報システムの開発、維持管理及び運用に関すること。 ○ 図書館サービスの利用統計及び調査に関すること。 ○ 図書館のPR及び広報に関すること。 ○ 多摩六都図書館協力事業の調整に関すること。 ○ 図書館実習生等の受入に関すること。 ○ 図書館協議会に関すること。 ○ 予算、決算、契約及び経理に関すること。 ○ 館内の文書及び物品の管理に関すること。 ○ 各係及び地区図書館の連絡調整に関すること。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さないこと。
サービス係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合カウンターのサービス及び運営に関すること。 ○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。 ○ 図書館資料の相互貸借及びリクエストに関すること。 ○ 児童サービスに関すること。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者サービスに関すること。 ○ 図書館行事（講座、講演会、おはなし会、展示会等）の開催に関すること。 ○ 分室の運営に関すること。 ○ 関係機関との連絡及び調整に関すること。 ○ 学校図書館の支援に関すること。 ○ 市内の学校及び子ども文庫との連携に関すること。 ○ 図書館ボランティアに関すること。 ○ 子ども読書活動の推進に関すること。 ○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない図書館サービスに関すること。
資料係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蔵書計画に関すること。 ○ 図書館資料の発注及び受入並びに参考資料及び地域資料を除く図書館資料の選定、収集及び整理に関すること。 ○ 図書館資料の維持管理、補修、除籍、廃棄及びリサイクルに関すること。 ○ 図書館資料の受贈及び受託に関すること。 ○ 開架及び閉架書庫の資料管理に関すること。
調査係	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考室カウンターのサービス及び運営に関すること。 ○ 参考調査及び読書相談に関すること。 ○ 参考資料及び地域資料の選定、収集及び整理に関すること。 ○ 参考資料及び地域資料の維持管理、補修、除籍及び廃棄に関すること。 ○ 特別文庫に関すること。 ○ 古文書及び古書の受贈及び受託に関すること。 ○ 古文書及び古書の整理、調査、出版、展示等に関すること。
地区図書館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査、統計及び広報に関すること。 ○ 図書館資料の購入に係る資料作成に関すること。 ○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。 ○ 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関すること。 ○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。 ○ 図書館資料の廃棄に係る資料作成に関すること。 ○ 図書館資料の相互貸借に関すること。 ○ 読書会、講演会、おはなし会、鑑賞会、資料展示会、その他集会に関すること。 ○ 読書相談及び参考調査に関すること。 ○ 図書及び書架の整備に関すること。 ○ 公印の管守に関すること。 ○ 地区図書館内の文書及び物品管理に関すること。 ○ 集会室（喜平図書館、上宿図書館）の貸出に関すること。 ○ 地域資料に関すること。

4. 予算概要

【表3】 小平市立図書館予算概要

(単位千円)

事業名		18年度	17年度	増減
図書館費合計		934,467	1,212,829	△278,362
図書館人件費		460,124	474,257	△14,133
中央	中央図書館運営管理事業	88,967	89,067	△100
	図書館情報総合管理システム運営事業	36,592	37,869	△1,277
	社会教育活性化のための情報基盤の整備と地域連携事業	0	17,214	△17,214
	古文書の収集・整理・保存事業	7,679	7,790	△111
	地域資料の収集・整理・保存事業	608	613	△5
	障害者福祉推進事業	840	890	△50
	視聴覚事業	660	660	0
	図書資料の収集事業	55,040	55,120	△80
	合計	190,386	209,223	△18,837
仲町	仲町図書館運営管理事業	26,880	26,688	192
	逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業	111	112	△1
	合計	26,991	26,800	191
花小金井	東部市民センター施設管理事業	42,926	39,535	3,391
	東部市民センター移転事業	71,290	318,489	△247,199
	花小金井図書館運営管理事業	11,512	13,893	△2,381
	新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業	1,232	1,229	3
	合計	126,960	373,146	△246,186
小川西町	西部市民センター施設管理事業	21,233	21,398	△165
	小川西町図書館運営管理事業	11,031	10,925	106
	障害者サービス事業	157	161	△4
	合計	32,421	32,484	△63
喜平	喜平図書館運営管理事業	25,270	25,202	68
	郷土写真資料の収集・整理・保存事業	318	376	△58
	合計	25,588	25,578	10
上宿	上宿図書館運営管理事業	21,879	22,174	△295
	合計	21,879	22,174	△295
津田	津田図書館・公民館施設管理事業	13,372	13,431	△59
	津田図書館運営管理事業	10,725	10,737	△12
	合計	24,097	24,168	△71
大沼	大沼図書館・公民館施設管理事業	14,064	14,019	45
	大沼図書館運営管理事業	10,802	10,980	△178
	合計	24,866	24,999	△133
事業費合計		474,343	738,572	△264,229

はじめに

図書館を巡る近年の動向としては、平成13年7月には文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動に関する法律」が、昨年7月には「文字・活字文化振興法」が公布・施行されました。また、平成16年3月には中央教育審議会生涯学習分科会から「今後の生涯学習の振興方策について」が報告され、平成17年2月の「IT政策パッケージ2005」には「住民に身近な地域の情報拠点として、医療・法律・ビジネスに関する情報提供等の多様な図書館サービスの促進を図るため、2005年度中に今後の図書館の在り方についての検討を行うとともに、引き続き図書館司書の能力の向上を図る。」とされています。

高度情報化・国際化・少子高齢化の時代を迎え、利用者のニーズが多様化している現在、小平市立図書館としても時代の変化に対応した図書館サービスを実施することが必要です。

また、小平市第三次長期総合計画・前期基本計画の図書館サービスには、今後の課題と本計画における基本方針を次のように位置づけています。

〔今後の課題〕

- (1) 今後は、図書資料の充実とともに、情報技術を活用した図書館システムのさらなる向上をめざして情報基盤の整備を推進し、また学校図書館との連携を図るなかで、総合的なネットワークを形成することが必要です。
- (2) 今後は、さらなるボランティアの活用や新しい図書館運営のしくみを検討するなかで、専門性を確保し、より活用しやすく便利な、新しい時代にふさわしい図書館を構築していく必要があります。
- (3) 近隣自治体にはない豊富な地域資料を備えており、さらに活用し市民に親しんでもらうために資料や情報のデジタル化を促進し、積極的に情報発信していくことが必要です。
- (4) また、豊富な地域資料は、小平の歴史を記録し後世に伝えるためにも、市内関係機関と連携しながら、専門性の高い市史編さんをしていくための貴重な資料として活用される必要があります。

【本計画における基本方針】

- (1) 市民や利用者にとっての便利で頼りになる新しい図書館サービスとして、図書資料や地域資料などの充実とともに、レファレンスサービスや児童サービスを、図書館の基幹的なサービスとして位置づけます。
- (2) さらに、情報技術を駆使した図書館の情報機能の充実や情報基盤の整備を促進するとともに、学校図書館との連携を進めます。
- (3) また仲町図書館については、近隣の仲町公民館との建て替え時期にあわせて施設の統合化を行い、情報技術により利用者の創造性をより高めていきます。
- (4) 今後、地域に関心が高まることが予想されるなかで、現存する貴重な資料を整備し、提供することにより、小平の市史の編さんを支援するなかで、貴重な歴史や文化を記録し、広く理解してもらうことが必要です。

以上のような動向を踏まえ、平成18年度の事業計画を次のとおり定めます。

1 目標

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」「資料が充実している図書館」を目指して次の目標を掲げ、多様化する市民ニーズに応えていきます。

- (1) 図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図っていきます。とりわけ、地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、ホームページを再構築し、内容の充実に努めます。

- (2) 花小金井図書館を新築移転し、東部地域の拠点館として図書館サービスの充実に努めます。
- (3) 仲町図書館建て替えのための検討を進めます。
- (4) 「小平市子ども読書活動推進計画」に基づき、小・中学校との連携を深め、学校図書館データ管理システムの運営を支援するため、学校図書館相談嘱託職員による巡回を開始します。
- (5) 図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るため、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティアの参加を促進します。

2 事業計画

目標に掲げた事項を効率的に推進するため、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう、次の具体的な事業を実施する。

- (1) 図書館協議会の開催
 - 図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図る。
- (2) 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用
 - 利用者数及び図書資料数の増加に対応したスムーズな事務処理を維持するため、図書館オンラインシステムによる利用者情報、資料情報の管理及び運用に努める。
 - ① 図書館オンラインシステム及びインターネット対応の整備
 - ② 書誌データの整備
 - ③ 地域資料の電子化の推進
- (3) 地域情報基盤の整備
 - 情報技術の積極的な活用を図り、ホームページの再構築と内容の充実を実現することによって、地域情報基盤の整備に努める。
- (4) (新) 花小金井図書館の開館
 - 花小金井図書館の新築移転と開館を実施することによって、東部地域の拠点館として図書館サービスの充実に努める。
- (5) 仲町図書館建て替えのための検討
 - 仲町公民館との建て替え時期にあわせた施設の統合化を図り、情報技術により利用者の創造性を高める施設の実現するために、仲町図書館建て替えのための検討を進める。
- (6) 広域利用の推進
 - 図書資料に対する利用要求の多角化・即応化に因って、都立図書館、多摩六都（小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、西東京市）をはじめ公立図書館との相互協力による利用サービスを推進する。
 - ① 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進
 - ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
 - ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進
- (7) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出
 - 市民の生涯学習の多様化、高度化する資料要求に応えるため、より新鮮で魅力のある資料のそろっている図書館となるよう、各館の収集分担により新刊図書等の収集に努める。
- (8) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出
 - 中央図書館での館内視聴と視聴覚資料の貸出をする。
 - ① 録音資料（朗読カセットテープ）
 - ② 映像資料（ビデオテープ、DVD）
 - ③ 音楽資料（コンパクトディスク、カセットテープ）
- (9) 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化
 - 市民の郷土理解を深めるため、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存に

努める。また、地域資料のデジタル化をより推進する。

- ① 地域資料（タウン紙・誌を含む）
 - ② 行政資料（東京都及び市区町村刊行物等）
 - ③ 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き
 - ④ 郷土写真
 - ⑤ 地域のパンフレット・ポスター
 - ⑥ 特別文庫の整理
 - ⑦ 古文書
 - ・ 古文書の寄託受入、整理、保存
 - ・ 「小平市史料集第20・29集」の発行
 - ・ 東京都指定文化財「小川家文書」の補修
 - ⑧ ホームページ版『としょかんこどもきょうどしりょう』の改定
 - ⑨ 地域情報リンク集の充実
- (10) レファレンス業務
- 利用者の資料相談に対応するため、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンス業務の充実を図る。
- ① レファレンス資料の収集・整理・保存
 - ② レファレンス事例のデジタル化の推進
 - ③ 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援
 - ④ 行政情報サービス及び調査支援の研究
- (11) 講座等の開催
- ① ボランティア講座
 - ② 児童文学講座
 - ③ 昔話講座
 - ④ おはなし学習会
- (12) 展示会等の開催
- ① 図書資料展示会
 - ② 障がい者対象図書資料展示会（小川西町図書館）
 - ③ 全国地方新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）
- (13) 児童サービス
- ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業等の実施
 - ② 「小平市子ども読書活動推進計画」の推進
 - ③ おはなし会（全館・定例）
 - ④ 絵本のへや（全館・定例）
 - ⑤ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
 - ⑥ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
 - ⑦ 児童書の蔵書管理の検討
 - ⑧ 子ども文庫への図書団体貸出
- (14) 小・中学校との連携促進
- ① 図書館見学・図書団体貸出・読み聞かせ学習指導の支援
 - ② 学校図書館との連携の強化
 - ③ 学校図書館相談嘱託職員による巡回
 - ④ 職場体験学習の受け入れ

(15) 障がい者・高齢者サービス

大活字本、拡大写本、点字図書の購入、布の絵本（さわる絵本）の作成、貸出及びPRを推進する。

- ① 対面朗読
- ② 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
- ③ 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施
- ④ 障がい者宅配サービスの研究
- ⑤ 福祉講演会（小川西町図書館）
- ⑥ 障がいをもった児童・生徒に対する読み聞かせの実施
- ⑦ 点字図書目録（点字版）及び点訳絵本の作成

(16) 複写サービス

- ① 図書資料の複写サービス
- ② 図書館集会室利用者への複写サービス

(17) リクエストサービス

利用者の求める資料、情報の提供に努める。

- ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
- ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
- ③ 相互利用による資料の貸借

(18) 図書館関係団体に対する援助・連携

図書館と関係の深い、小平市子ども文庫連絡協議会、社会福祉協議会、小平図書館友の会等との連携を図り、利用しやすい図書館、親しみやすい図書館づくりに努める。

- ① 補助金の交付（小平市子ども文庫連絡協議会）
- ② 事業活動への協力及び共催事業の開催

(19) 図書清掃の実施

返却図書等の清掃により清潔な図書の提供に努める。

(20) 施設の運営管理

- ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
- ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）
- ③ 各図書館の施設・設備改修計画の見直し

(21) 蔵書管理

図書資料の購入、寄贈図書の受入、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、より新鮮な情報提供ができる蔵書管理体制を確立する。

- ① 未返却図書の督促
- ② 図書の整理・補修
- ③ 図書の選書・発注・受入
- ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
- ⑤ 蔵書管理基準の再検討

(22) 職員研修機会の拡充

- ① 司書講習への派遣
- ② 全体研修会の開催
- ③ 実務研修・各種研究会への参加
- ④ 各種職場研修の実施

(23) 実習生及び視察等の受け入れ

- ① 図書館実習生（大学生等）の受け入れ
- ② 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受け入れ

(24) 広報活動

- ① 夏休み家族一日図書館員の開催
- ② 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布
- ③ 新刊・新着図書案内の発行
- ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
- ⑤ 図書館ホームページの整備・活用

(25) 図書館ボランティアの参加促進

図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るため、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティアの参加を促進する。

この一年間の事業の成果

1. 図書館協議会の開催

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べる機関として、図書館法第14条第1項の規定により小平市立図書館条例第9条に設置を定めている諮問機関です。今年度の主な審議案件は、次のとおりです。

【表4】 平成18年度図書館協議会の審議案件

回	開催日	審議案件等
1	平成18年5月25日(木)	(1)報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○平成18年度蔵書点検の実施について ○平成17年度図書館事業報告について ○平成18年度司書講習への職員派遣について ○花小金井図書館開館式典について ○平成18年度ブック・リサイクル事業について ○IFLA(イフラ)プロフェッショナル・ツアーの受け入れについて ○小平市立図書館30年のあゆみと記録集について (2)協議事項 ○先進図書館の視察について
2	平成18年7月27日(木)	(1)視察先 稲城市立中央図書館 (2)視察内容 ○複合システムについて ○自動貸出システムについて ○自動書庫システムについて
3	平成18年9月28日(木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○実習生の受け入れについて ○市議会9月定例会について ○IFLA(イフラ)視察の終了報告について ○学校図書館支援センター推進事業について ○都立図書館改革の具体的方策について ○平成18年度ブック・リサイクル事業について (2)小平市立図書館案内(パワーポイント)試写
4	平成18年11月9日(木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○平成17年度決算特別委員会について ○小平市における学校図書館支援センター推進事業について ○小平市図書館協議会委員の市民公募導入について
5	平成19年1月25日(木)	(1)報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会12月定例会について ○小平市における学校図書館支援センター推進事業について ○ふるさと新聞元旦号展について ○No55(再刊1号)「小平市図書館だより」について

6	平成 19 年 3 月 22 日 (木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会 3 月定例会について ○小平市における学校図書館支援センター推進事業について ○ブック・リサイクル実施状況報告 ○小平市図書館協議会公募委員選考結果について (2) 協議事項 ○平成 19 年度小平市立図書館事業計画 (案) について ○平成 19 年度小平市図書館協議会日程 (案) について
---	----------------------	--

2. 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用

(1) 図書館オンラインシステム及びインターネット対応の整備

小平市立図書館全館をコンピュータネットワークで結ぶオンラインシステムは、昭和60年8月よりコンピュータ会社と共同開発し、昭和61年2月から第一次オンラインシステムが稼動を開始し、この間スタッフによる開発が続けられました。

昭和62年4月に第二次オンラインシステムが稼動を開始し、同10月から正式に完全稼動を開始しました。さらに、平成14年10月従来の中央処理方式に替わりパソコンの分散方式による新電算システムが稼動し、インターネットによる蔵書検索が可能となり、平成15年7月には、インターネットによる図書予約を開始しました。

(2) 書誌データの整備

現在の書誌データ(資料の書名・著者名・出版社などの目録上の記録)には、一部書名・著者名等がひらがなやカタカナ表記になっているものがあり、同一書誌が重複して登録されているものがあるため、それらを随時訂正及び統合して書誌データの整備を進めました。

また、簡易な書誌データは、より詳細で検索しやすいデータに訂正しました。

(3) 地域資料の電子化の推進

生涯学習社会の到来とともに、市民の多様なニーズに応えるために、図書館が中心となり、様々な機関と連携して事業を実施し、地域資料における情報の提供を図りました。

3. 地域情報基盤の整備

情報技術の積極的な活用を図り、ホームページの再構築と内容の充実を実現するために、平成14年から運用してきた図書館ホームページの利便性を向上させ、抜本的な再構築を図りました。

主な特色としては、トップページの構成を一新し、どのページからでも必要なページに移動できる案内表示・グローバルナビゲーションの導入、文字・画像サイズや色の変更及び音声読上げができるズームサイトの採用などが挙げられます。

4. (新) 花小金井図書館の開館

花小金井図書館は、「花小金井駅北口都市基盤整備事業」に伴う事業として東部市民センターの移転が実施されることに伴い、新築移転したものです。平成17年1月に建設工事に着工し、平成18年2月に竣工し、5月8日(月)にリニューアルオープンしました。この開館準備のために4月1日から5月7日まで臨時休館しましたが、新館開館以来利用が順調に伸び、平成18年度の貸出資料数は平成17年度を上回りました。

5. 仲町図書館建て替えのための検討

仲町図書館建て替えについては、図書館協議会で研究した成果を提言にまとめていただくとともに、検討会議を開催して、関係各課で建て替えに伴う課題の整理を進めました。主な検討課題は、次

のような項目です。

- ① 仲町公民館との施設の統合化
- ② 施設の共有と効率的な利用
- ③ 建て替えに伴う課題の整理

6. 広域利用の推進

(1) 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進

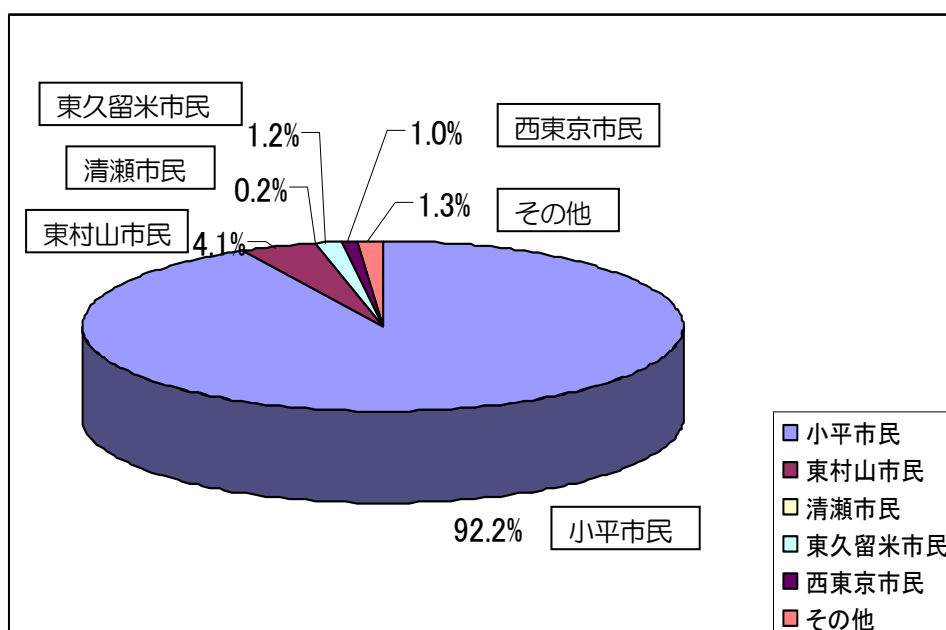
【表5】 相互貸借の推進

年 度	貸借	都立図書館	多摩六都	その他	合計冊数	前年比
平成 16 年度	貸出	17 冊	2,176 冊	1,603 冊	3,796 冊	
	借用	3,012 冊	876 冊	1,089 冊	4,977 冊	
平成 17 年度	貸出	0 冊	2,428 冊	1,612 冊	4,040 冊	6.4%
	借用	2,484 冊	1,032 冊	1,252 冊	4,768 冊	△4.2%
平成 18 年度	貸出	0 冊	2,286 冊	2,433 冊	4,719 冊	16.8%
	借用	2,663 冊	953 冊	1,372 冊	4,988 冊	4.6%

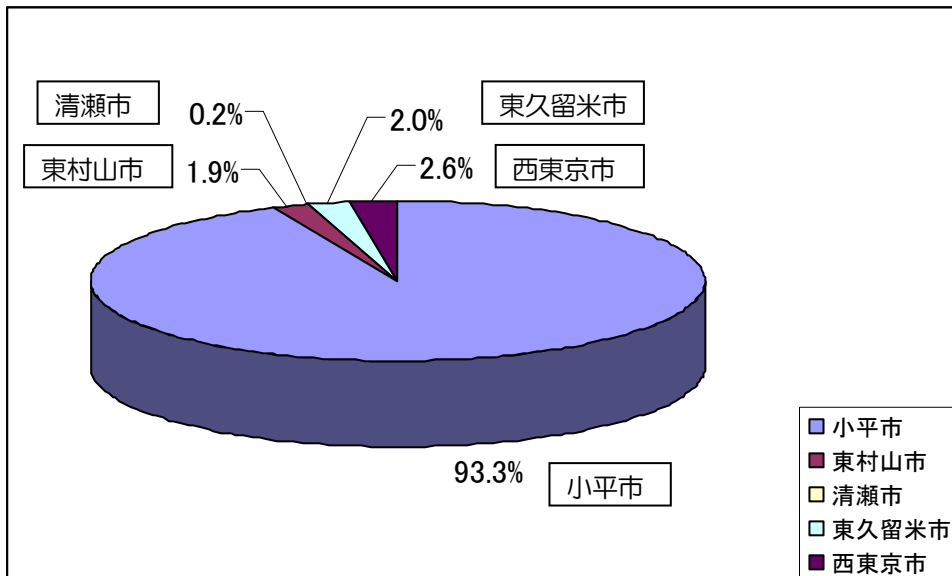
相互貸借は、前年度に比べ、貸出は 16.8%、借用は 4.6%増加しています。都立図書館のホームページの「東京都公立図書館横断検索」によって、都内図書館蔵書約 3,800 万冊を簡単に検索でき、予約もできるため、区部との相互貸借も増加しています。

また、多摩北部都市広域行政圏協議会（多摩六都）の平成 18 年度広域利用状況は図 3 及び 4 のとおりです。小平市立図書館の貸出利用数を見ると、小平市民の利用が 92.2%を占めています。広域利用として小平市立図書館の利用は、小平市に隣接している東村山市民が 4.1%、東久留米市民が 1.2%、西東京市民が 1.0%で、隣接していない清瀬市民は 0.2%です。これに対し小平市民の広域利用は、小平市に隣接している東村山市が 1.9%、東久留米市が 2.0%、西東京市民が 2.6%で、隣接していない清瀬市民は 0.2%です。このことから、隣接市の図書館を相互に利用しており、広域利用が一定の効果を挙げています。

【図3】 小平市立図書館の広域利用状況



【図4】 小平市民の広域利用状況



(2) 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進

都立図書館のホームページでは図書館関係の多様な情報が提供されており、蔵書検索や東京都の図書館横断検索をはじめレファレンス申込みやレファレンス事例のデータベース、雑誌記事索引、図書館関係リンク集、法律情報・医療情報・ビジネス支援サービス等の充実した内容の情報が整備されています。

これらの情報を積極的に利用するとともに、より効率的かつ効果的な情報提供に努めるために、都立図書館の研修に積極的に参加し、担当者の連絡会議や研究会を通して図書資料情報ネットワークの推進を図りました。

(3) 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

多摩北部都市広域行政圏協議会の図書館専門委員会において次の課題について検討し、利用サービス及び連携の推進を図りました。

① 図書館の安全管理について

緊急時の連絡体制、災害時の対応、事故・病気・けがに対する処置等、圏域5市の公立図書館で実際にあった具体的な事例とその対応方法を比較検討し、適切な対策を考えるための試案として、「多摩六都・図書館危機管理マニュアル」をまとめました。

② レファレンス研修の実施について

圏域5市合同で実施することで、専門的な講師を招いた研修が実現でき、共通認識が得られる等の効果から、斎藤誠一氏（千葉経済短期大学准教授）を講師として招き9月29日（金）に研修会を実施しました。

③ 多摩六都・図書館ガイドブックについて

ガイドブック発行によるPR効果が大変大きいことから、今年度も継続して発行し、並行してホームページ版ガイドブックの更新を進めました。

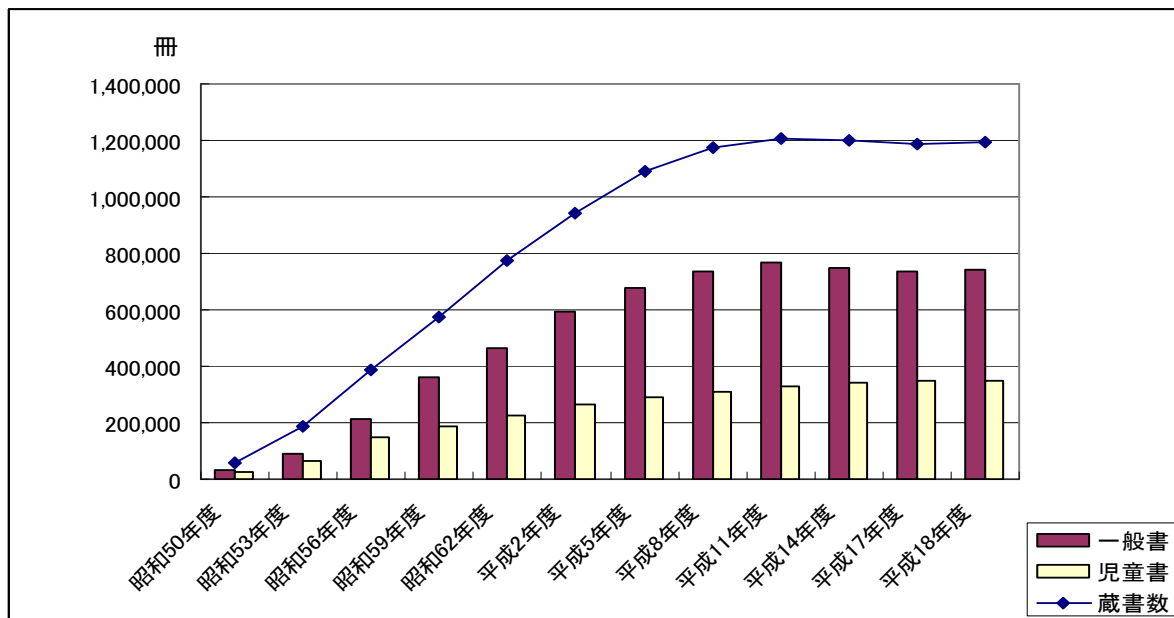
7. 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

(1) 資料収集と蔵書構成

小平市立図書館の開館以来の基本方針として「資料のそろっている図書館」を目指して運営しており、「小平市立図書館サービス計画」の基本方針に沿って、豊かで質の高いサービスを提供するために資料・情報の充実に努めました。

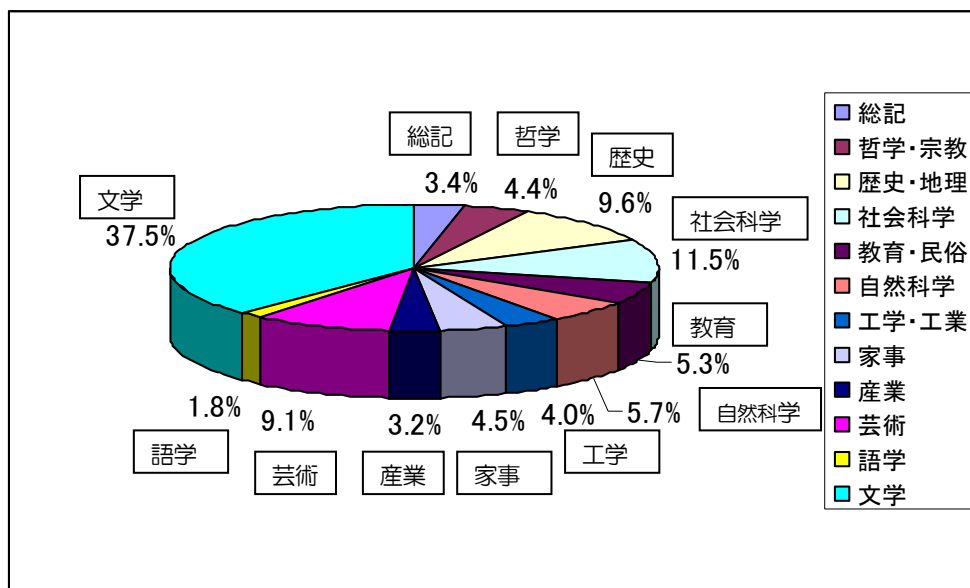
しかし、図5に見るように平成11年度には蔵書数が120万冊となり、収容能力が限界に到達しています。このため、平成13年度以降ブック・リサイクルを実施し、蔵書冊数の調整をしています。また、昭和50年度の開館当初は児童書が全蔵書の47.2%を占め一般書とほぼ肩を並べていましたが、昭和62年度に一般書の半分以下となり、平成18年度には全蔵書の29%を構成しています。

【図5】 蔵書数の推移

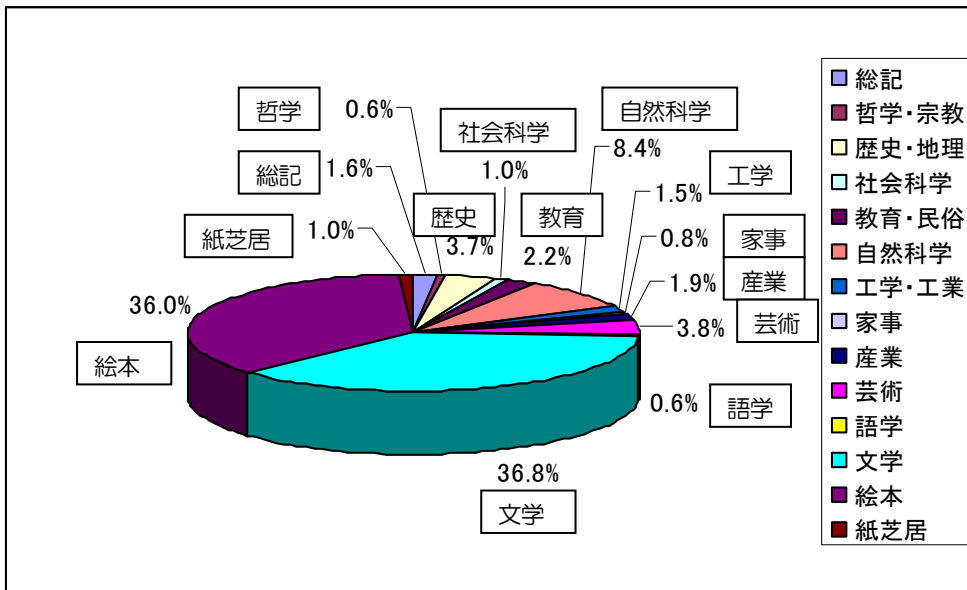


また、図6及び図7を見ると一般書と児童書の蔵書構成の違いが顕著に現れています。一般書は、文学が37.5%を占め、語学が1.8%と少ないですが、文学以外は適度に分散しています。これに対し児童書は、文学と絵本で全体の72.8%を占め、次に多いのが歴史・地理で8.4%です。その他は4%以下で、哲学・宗教、社会科学、家事、語学、紙芝居の5分野は1%以下となっています。

【図6】 一般書分類別所蔵資料率



【図7】 児童書分類別所蔵資料率



(2) 雑誌

- ① 原則としてタイトル数の増加はせず、複本で所蔵があるもの、休刊・廃刊等になったものを中心に見直しを行いました。平成18年度からの購入中止雑誌は11誌、休刊・廃刊雑誌は7誌、新規購入雑誌は5誌となりました。
- ② 中央図書館の参考室には、データ登録をしていないものの、受入・整理している寄贈雑誌が88誌あり、特別貸出で対応しています。

(3) 新聞

主要6紙は市内8図書館で所蔵し、縮刷版は各館で分担収集しています。

8. 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

(1) 障がい者用録音資料（音訳カセット）

今年度は新しい音訳資料の作成はしませんでした。朗読ボランティアに依頼して、図書資料1冊の音訳カセットを作成中です。また、視覚障がい者のために、図書館の新着案内の音訳カセットを朗読ボランティアが3か月に1回作成し、配布しています。

(2) 映像資料（ビデオテープ・DVD）

- ① 映画・教養（記録）・児童等の各ジャンルより選定し、DVD61点、ビデオテープ（VT）29点をMARC（コンピュータで処理可能な形式の目録）・装備付で購入しました。これらはすべて館内・館外貸出の著作権許諾済のものです。
- ② 館内利用はDVD1,029点、レーザーディスク（LD）777点、VT1,720点でした。

(3) 音楽資料（コンパクトディスク・カセットテープ）

- ① ポピュラー（邦楽・洋楽）・クラシック・児童・朗読・演歌・学芸・教養等の各ジャンルより選定し、CD222点、カセットテープ23点を購入しました。（うちカセットテープは点訳サークルボランティアによる点字シールの貼付）
- ② 朗読CDは、素納品購入のため自館装備をし、それ以外はMARC・装備付で購入しています。

9. 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

「小平市新長期総合計画・後期基本計画」の「基本方針」に郷土・行政資料の収集・保存が位置づけられ、貴重な資料を収集・整備し保存を行い、地域の人々が多様な利用ができることが求められていることから、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存に努めています。また、所蔵資料や情報の積極的な提供を図るため、地域資料のデジタル化を推進し、ホームページで一層の情報提供を行います。

地域資料の収集については、「図書館サービス計画」の別表1「図書以外の資料収集分担表」に従って全館で収集分担しており、平成18年度末の所蔵点数は次の「地域資料所蔵資料数」のとおりです。

【表6】 地域資料所蔵資料数 (平成19年3月31日現在)

館名	資料名	開始年月	資料数
全館	地域資料	昭和50年4月	58,954
中央図書館	特別文庫	昭和60年7月	21,049
	古文書	昭和50年9月	27,020
仲町図書館	地域雑誌、タウン誌、ミニコミ紙	昭和61年1月	4,965
花小金井図書館	地域の広告、チラシ	昭和54年4月	50,000
喜平図書館	郷土写真のデジタル化	平成14年4月	8,200
上宿図書館	地域の新聞記事切り抜き	昭和52年2月	40,000
	郷土写真	昭和53年7月	55,000
津田図書館	地域のパンフレット、ポスター	昭和63年3月	4,255
大沼図書館	市内在住著作者資料	昭和60年7月	2,429
合計			266,803

(1) 地域資料（タウン紙・誌を含む）

- ① 地域資料の所蔵資料数は、58,954冊で、積極的な資料収集の結果、前年度と比べて2,180冊の増となりました。今年度の受入は2,668冊で、その内訳は購入563冊、寄贈2,050冊、小平市立図書館刊行物55冊です。また、除籍数は488冊です。

【表7】 地域資料の所蔵資料数

年度	受入資料数	除籍資料数	資料総数
平成17年度	2,011冊	2,454冊	56,774冊
平成18年度	2,668冊	488冊	58,954冊

【表8】 平成18年度地域資料分類別受入資料数

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
A 総記	259冊	I 財政	169冊	O 教育	240冊	U 公害・災害	84冊
B 歴史	221冊	J 経済	10冊	P 文化施設	131冊	V 産業	76冊
D 地理	273冊	K 統計	139冊	Q 自然科学	25冊	W 交通・運輸	37冊
E 民俗	54冊	L 社会	162冊	R 土木・建築	63冊	Y 文学・芸術	53冊
F 議会	77冊	M 労働	25冊	S 都市施設	60冊	Z 特別コレクション	27冊
G 行政	309冊	N 福祉	124冊	T 保健衛生	50冊	合計	2,668冊

- ② 地域雑誌、タウン誌、ミニコミ紙の資料数は4,965冊で、タイトル数は42誌です。この内現在刊行中のものは14誌です。

- ③ 市内在住著作者資料は、小平市にお住まいの方々の著作物をコレクションとして収集して利用に供しているもので、昭和60年7月に中央図書館で収集を開始し、平成13年1月に大沼図書館が引き継ぎ現在に至っています。平成18年度末現在の書誌数は2,385件、所蔵資料数は2,452冊です。
- (2) 行政資料（東京都及び市町村刊行物等）
『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準』の総則には、「地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料及び情報を積極的に収集し、的確に提供できるよう努めるものとする。」とされ、行政資料の収集・提供が求められており、地域資料として積極的に収集しています。
平成18年度に出版された行政資料の中で小平市の資料は79件・393冊で、全体では1,566冊収集しました。
- (3) 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き
① 小平に関する新聞記事の切り抜きは、昭和52年2月に開始して29年が経過し、152冊の原紙を製本し、約40,000点の記事が収録されています。この事業は、最初は小平市図書館（現仲町図書館）で開始し、昭和54年4月からは花小金井図書館が引き継ぎ、平成16年4月からは上宿図書館が引き継いでいます。
② 平成15年度と16年度の緊急雇用促進事業によって、平成15年までの記事については約40,000点の記事索引のデジタル化が済み、新聞記事管理システムに独自入力した平成3年1月から平成13年12月までのデータは15,757件に達しています。
③ 平成18年度の小平市及び図書館関係記事の収集件数は、約1,700件です。
- (4) 郷土写真
① 郷土写真事業は、昭和53年7月に開始してから28年が経過し、定点撮影、テーマ別撮影、秘書広報課移管写真の合計は約55,000点となっています。事業開始のきっかけは昭和52年8月に開催した郷土写真展で、最初は小平市図書館（現仲町図書館）で開始し、昭和56年6月からは喜平図書館が引き継ぎ、平成16年4月からは上宿図書館が引き継いでいます。
② 平成18年度定点撮影は、秘書広報課から寄託されたポイント写真（昭和57年撮影）520ヶ所626枚について5年計画で撮影を始めました。1年目の今年度は92箇所の撮影をしました。
※図書館定点撮影96箇所については、平成23年度から撮影を再開します。
③ 平成14年度から郷土写真のデジタル化を開始し、今年度は2,531点のデータ入力が進み、現在約8,200点のデジタル化が完了しています。
- (5) 地域のパンフレット・ポスター
① ポスター収集事業は、昭和63年3月から津田図書館で開始したもので、今年度は3896枚を新規に収集整理し、現在合計4,255枚のポスターを収蔵しています。
② 新聞折込広告の収集は、昭和54年4月に開始してから28年が経過し、収集した資料を「小平市リーフレット分類表」に従って分類整理した上で『小平市リーフレット（広告）』として製本しており、平成17年度分までで259冊、約52,000枚の資料が集積され、今年度は1,977枚の広告を収集しています。
- (6) 特別文庫の整理
特別文庫としては、久下司氏旧蔵書の久下文庫と伊藤好一氏旧蔵書の伊藤文庫があります。
① 久下文庫
久下文庫は昭和58年から平成3年にかけて調査し、『久下文庫所蔵目録Ⅰ～Ⅳ』を刊行しています。その中には、図書6,161冊、雑誌3,335冊が収録されています。昭和60年7月の中央図書館開館に伴い特別文庫室に収蔵され、昭和63年7月に寄託契約書を取り交わし

ています。その後、平成7年11月に久下司氏が亡くなられ、全蔵書が寄贈されました。この内、和漢書の貴重書及び貴重書に準じるものは、平成14年2月に『久下文庫和漢書目録』、平成15年2月に『久下文庫和漢書目録 続編』が刊行されています。

② 伊藤文庫

伊藤文庫は、『小平町誌』の編さんに尽力され、近世史の研究にも大きな功績を残された伊藤好一氏の旧蔵書で、ご遺族のご好意によって平成11年3月に当館に寄贈されたものです。この貴重な蔵書が未整理のままになっていたことから、日本近世史の研究団体である関東近世史研究会の研究者の方々により、平成13年1月から平成16年10月まで月1回の整理作業が行われました。この結果、関東近世史研究会によってカード目録の作成が行われ、図書8,273冊、雑誌3,280冊が整理されています。

③ 今年度の取り組み

伊藤文庫については、整理が終了した後も段ボール箱に保管されたままの状態になっていましたが、今年度花小金井図書館の移転にともない書架が確保されたことにより、中央図書館において閲覧できるようになりました。

(7) 古文書

① 古文書の整理事業としては、現在までに23家、27,020点の資料の整理が終了し、昭和54年から平成4年までに19冊の古文書目録を作成し、平成5年から史料集の編集発行に取り掛かり現在までに27冊を刊行しています。

② 今年度は、『小平市史料集第20集 村の生活6』と『小平市史料集第29集 村入用』を刊行しました。

③ 東京都指定文化財小川家文書の補修事業については平成11年度より都の補助事業で開始し、今年度をもってすべての補修事業が完了しました。終了に伴い補修報告書『小平市立図書館の資料保存と古文書補修～東京都文化財保存事業「小川家文書保存修理」に関する報告書～』を作成しました。

(8) ホームページ版『こどもきょうどしりょう』の改定

『としょかんこどもきょうどしりょう』は、小平市立図書館が平成2年から平成7年の間に発行した、子ども向け郷土資料のパンフレットです。小平市の歴史や地誌を子どもにも分かりやすい文章にまとめ、ねこ・きつね・いぬ・ふたなどのキャラクターを交えて解説したものです。子ども向けの郷土資料は少ないため、利用者の皆さんにたくさん利用していただきました。全部の資料を手に入れたいという要望にこたえて、平成8年に1冊の本にまとめて刊行しましたが、完売したため、平成16年度に緊急雇用特別創出補助事業の予算により、デジタル化してホームページに公開しました。平成18年度は次のような内容の見直しを行いました。

- ・ 原本の誤りによるデジタル版の誤りを一部修正しました。
- ・ デジタル化に際して転記ミスがあった部分を修正しました。
- ・ ホームページレイアウトを斉更新にともないグローバルナビゲーション仕様に変更しました。

(9) 地域資料リンク集の充実

① リンク基準を作成するための資料を収集し、主な自治体のホームページを比較検討しました。

② ホームページレイアウトを斉更新に際して、リンク集の追加・変更等を行いました。

③ 平成17年度に作成したCGIのリンク集データベースは別途サーバを用意し、そちらで公開することになりました。

CGI とは Common Gateway Interface の略です。通常のページでは、あらかじめ用意された HTML ページを表示するだけですが、CGI を用いることにより、リンク集や検索システムのようなページを作成することができるようになります。

10. レファレンス業務

利用者の資料相談に対応するため、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンス業務の充実を図りました。

(1) レファレンス資料の収集・整理・保存

① レファレンス業務の充実

- ・平成17年度は地区図書館でも統計をとり始めたことにより、平成16年度より大幅に件数が増加しましたが、平成18年度は前年度比77.6%にとどまりました。

【表9-1】 レファレンス統計の推移

年 度	中央図書館		地区図書館		小計		合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成14年度	4,203	420	—	—	4,203	420	4,623
平成15年度	4,701	411	—	—	4,701	411	5,112
平成16年度	7,781	594	—	—	7,781	594	8,375
平成17年度	15,984	775	15,425	268	31,409	1,043	32,452
平成18年度	8,381	316	15,439	143	23,820	459	24,279

【表9-2】 レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）

年 度	中央図書館		地区図書館		小計		合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成14年度	132	115	—	—	132	115	247
平成15年度	110	86	—	—	110	86	196
平成16年度	102	78	—	—	102	78	180
平成17年度	140	64	129	3	269	67	336
平成18年度	178	52	11	0	189	52	241

※ 所蔵調査（記録票記入済み、所蔵調査件数）、参考調査（記録票記入済み、参考調査件数）

② 参考図書の発注・受入

- ・今年度は継続資料と買い替え資料を中心に246冊を購入しました。
- ・寄贈された行政資料と寄贈本の中から、参考資料として活用できるもの121冊を受け入れました。
- ・古い資料、利用価値が減少した資料は閉架に移し、書架整理を行いました。

(2) レファレンス事例のデジタル化の推進

- ・レファレンス事例のホームページでの公開については、システム更新時に取り組むために研究を進めています。
- ・公開事例の準備として、地域関係レファレンスの整理を行いました。
- ・国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」事業については、提供事例を増やすための検討を行いました。

(3) 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援

- ① 教科や調べ学習時に必要な資料の整備を図り、司書教諭等研究協議会の会議等の際にリストの紹介をし、図書館の書架に案内して実際に資料を手にとれるように工夫しました。
- ② 中学生の職場体験時にレファレンスについて説明し、調べ方の実習などを行いました。
- ③ 小平市内の小・中学校が、教科等で図書館資料を利用して授業を行う場合に、事前にテーマや希望図書リストを市立図書館に送付し、図書館が貸出を行う支援を実施しました。
また、学校から依頼があった場合には、児童担当職員が学校へ出向き、テーマに沿ったブックトークを実施しました。

(4) 行政情報サービス及び調査支援の研究

・ 有料データベースの活用

平成19年度から中央図書館に有料データベース及びインターネット端末が導入されることが決まり、有料データベースの選定と、その運用方法についての検討を行いました。また、有料データベースの試用と近隣図書館への視察も行いました。

- ・ 行政事務に対応するための市長部局からのレファレンスに応じました。
- ・ 市役所職員にも図書館のレファレンスサービスを知ってもらうため、有料データベースやレファレンス案内などについて、庁内報（市役所職員向けの広報誌）への記事の掲載を検討しました。

1 1. 講演会・講座等の開催

(1) 図書館ボランティア体験講座

小学校5年生から大学生までを対象に、中央図書館で「夏休み図書館ボランティア体験講座」を開催しました。今年で3回目の開催で、小学生から高校生までの11人が参加し、説明会を含めて10回の講座に延べ58人が参加しました。内容は、児童図書の排架、おはなし会のおみやげ作り、ポスターの作成、児童向けのおはなし会の誘導等で、作成した「絵本のへや」の案内ポスターは、児童コーナーに展示しました。

(2) 児童文学講演会等

子ども科学講演会をはじめ児童文学や絵本に関する講演会、読み聞かせに関する講座、大人対象のおはなし会などを市内各図書館で開催しました。

【表10】 講演会・講座等の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成18年7月27日	子ども科学講演会「親子で楽しむ虫たちのふしぎ」(新開孝氏)	小学生とその家族54人 (花小金井図書館)
平成18年11月4日	児童文学講演会「アルプスの少女ハイジの世界」(池田正孝氏)	一般・44人 (中央図書館)
平成18年11月29日	児童文学講演会「子どもに伝える読書の楽しみ」(福本友美子)	一般・36人 (喜平図書館)
平成19年3月20日	児童文学講演会「子どもと楽しむ～育児と絵本～」(佐々加代子氏)	一般・22人 (上宿図書館)
平成18年9月28日 10月5日	児童文学紀行講座「絵本で旅するアメリカ」(全2回)	一般・延べ74人 (中央図書館)
平成18年5月25日 6月1日 6月8日	読み聞かせ実践講座(全3回)	小学校などで絵本の読み聞かせをしている方 延べ77人 (中央図書館)
平成18年7月6日	大人のためのおはなし会(第1回)	一般・27人(花小金井図書館)
平成18年11月2日	大人のためのおはなし会(第2回)	一般・19人(上宿図書館)

(3) 昔話講座

昔話連続講座「今昔物語集の世界」は、今昔物語集の成立、時代背景等の興味深い講座で、全3回の講座には幅広い年代の方の参加がありました。

開催日	講座内容	対象・参加人数
平成19年2月17日 2月24日 3月3日	「今昔物語集の謎をさぐるー再発見のドラマ」 「今昔物語集の異類たちー鬼・天狗・龍」 「今昔物語集の闇の群像ー盗人と武士」	一般・延べ190人 (中央図書館)

(4) おはなし学習会

質の高いおはなし会を実施するために、図書館の児童担当職員と小平市子ども文庫連絡協議会のおはなし担当者を対象に、「おはなし」(ストーリーテリング)を実演し、専門講師の指導を受ける学習会を開催しました。開催回数は8回で、延べ224人が参加しました。また、ベテランの担当者のアドバイスによる「おはなし自主学習会」を24回実施し、おはなし会で絵本の「読み聞かせ」を担当する職員全員が学習できる機会を設け、より専門性の高いサービスに努めました。自主学習会の参加者は、延べ313人です。

12. 展示会等の開催

(1) 図書資料展示会

外国児童文学ゆかりの土地を訪ねた「児童文学の故郷」と「アルプスの少女ハイジ」の写真展を開催しました。これに合わせ、関連図書の展示と児童文学講演会も行いました。また、子ども科学講演会講師による写真展「昆虫のふしぎ」を、中央図書館と花小金井図書館で行いました。

(2) 障がい者対象図書資料展示会

「こだいら子ども読書月間」行事として、ボランティアグループが作成した「布の絵本・さわる絵本」「点訳絵本」「拡大写本」などを実際にさわって遊べる展示会を、中央図書館・小川西町図書館で開催しました。関連する参考資料もあわせて展示し、啓発に努めました。

(3) 全国地方新聞元旦号展

地方新聞社の元旦号の新聞の提供を全国の新聞社に依頼し、66社の中から60紙の寄贈を受けて展示を行いました。これに合わせて、地方新聞社等から刊行されている特色ある出版物を紹介し、貸出を行いました。中央図書館では平成19年1月6日(土)から1月17日(水)まで、大沼図書館では1月20日(土)から1月25日(木)まで開催し、新聞社1社、FMラジオから取材を受け、報道されました。

13. 児童サービス

(1) 子ども読書活動の推進に関する啓発事業等の実施

「こだいら子ども読書月間」として、4月23日(土)の「こども読書の日」をはさんだ4月1日から5月7日までの期間に、市内全図書館で「子ども読書の日」に関する14の事業を開催しました。内容としては、児童図書の展示、絵本の読み聞かせ、親と子の土曜絵本ひろば、こども読書相談、バリアフリー絵本の展示などです。

(2) 「小平市子ども読書推進計画」の推進

「子ども読書推進計画」の方針に従い、学校、地域、図書館等が協力して、子どもが本に親しみ、心豊かな子ども時代を過ごせるようにするために、平成17年度から市内の小・中学校で学校図書館蔵書管理システムを活用した図書館運営に着手しました。平成18年度からは、学校図書館相談員が小・中学校を巡回して、図書検索・蔵書の点検作業などの業務の相談に応じ、中央図書館の職員によるアドバイスも行いました。

(3) おはなし会

児童を対象に4歳から1年生、小学生と2回に分け、おはなし（ストーリーテリング）と絵本の読み聞かせを行いました。参加人数は前年度4,908人に比べ197人減の4,711人です。

【表11】 おはなし会の開催回数と参加人数

図書館名	低学年		高学年		合計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
中央図書館	49回	1,010人	49回	339人	98回	1,349人
仲町図書館	23回	175人	23回	307人	46回	482人
花小金井図書館	20回	411人	20回	233人	40回	644人
小川西町図書館	23回	197人	23回	104人	46回	301人
喜平図書館	23回	340人	23回	260人	46回	600人
上宿図書館	23回	456人	23回	213人	46回	669人
津田図書館	23回	224人	23回	87人	46回	311人
大沼図書館	23回	179人	23回	176人	46回	355人
合計	217回	2,992人	207回	1,771人	414回	4,711人

(4) 絵本のへや

絵本のへやは、乳幼児への読み聞かせと絵本の紹介の場であると同時に、母親たちの仲間づくり、情報交換の場としての役割も果たしています。手遊びや、わらべうたなども取り入れ、2・3歳児とその保護者を対象に実施しました。今年度は、延べ95回開催し1,366人の参加者がありました。

【表12】 絵本のへやの開催回数と参加人数

図書館名	開催回数	乳幼児参加人数	大人参加人数	合計
中央図書館	12回	159人	140人	299人
仲町図書館	12回	68人	64人	132人
花小金井図書館	11回	78人	68人	146人
小川西町図書館	12回	62人	57人	119人
喜平図書館	12回	172人	166人	338人
上宿図書館	12回	45人	40人	85人
津田図書館	12回	67人	60人	127人
大沼図書館	12回	65人	55人	120人
合計	95回	716人	650人	1,366人

(5) 学校課題図書および図書館推薦図書の別置

- ① 夏休み前に地区図書館が担当する地域の小・中学校から課題図書リストを連絡してもらい、期間中、児童コーナーに別置して貸出を行いました。
- ② 図書館で作成した小・中学生向けの「おすすめ本」紹介リストを学校を通じて配布し、その本を夏休みの期間中図書館に別置し、貸出を行いました。

(6) 乳幼児に対する推薦図書リストの配布および読み聞かせの実践

- ① 健康センターで月2回行われる「3～4か月児健診」の際、市内の図書館の児童担当者が毎回2名で出向き、健診の待ち時間を利用して、絵本の紹介をしながら図書館が作成した赤ちゃん絵本リスト「よんでよんでの絵本みつけた」の配布を行いました。
- ② 来場している赤ちゃんや兄弟姉妹に実際に読み聞かせの実演や、図書館の読み聞かせの会「絵本のへや」の紹介をし、子どもに本に親しんでもらうことの大切さについて呼びかけをしました。

(7) 児童書の蔵書管理の検討

- ① 汚損のひどいものや統計資料が古くなった図書等は除籍を行い、資料として保存すべきものについては中央図書館の書庫に保存しています。
- ② 複本が多いものについては除籍を行い、有効利用を図るため、リサイクル資料として市内の学校や保育園など公共施設へ 273 冊を提供しました。

(8) 子ども文庫への図書団体貸出

小平市内にある小平市子ども文庫連絡協議会の子ども文庫に 18 年度は新たに 107 冊の児童図書の貸出を行い、文庫の総蔵書数は現在 5,650 冊となっています。今年度は、市内の 5 つの子ども文庫でのべ 1,127 人の子どもに合計 2,384 冊の図書を貸出しました。

14. 小・中学校との連携促進

(1) 図書館見学

市内の小学校 3 年生の図書館見学を受け入れ、今年度は 20 校の 54 学級 1,644 人の児童が参加しました。

(2) 図書団体貸出

対象：市内の子ども文庫、市内の小・中学校、学童クラブ、その他読書に関する団体で、教育委員会が認めるもの

選本：申請者が選本。各団体 50 冊以内。

期間：3 ヶ月＝学期単位

方法：学年が 3 クラス以上の場合は、1 学期ごとにクラスごとに入れ替え、3 学期末に返却。

今年度は、小学校 19 校へ 11,806 冊、その他栄養士の保育園での栄養指導等に使う図書の貸出などが 54 冊ありました。

(3) 職場体験学習の受け入れ

中央図書館・花小金井図書館・小川西町図書館・喜平図書館・津田図書館・大沼図書館の 6 館で小学校 2 校の 7 人、中学校 7 校の 26 人の職場体験を受け入れ、図書館のカウンターサービスなどを実際に体験してもらいました。

15. 障がい者・高齢者サービス

- ・ 障がい者サービスは、小川西町図書館を中心館として位置づけ、中央図書館では著作権や対面朗読室、対外対応を担当しています。
- ・ ボランティアの朗読サークル 4 団体、点訳サークル 2 団体、拡大写本・布の絵本のサークル 1 団体、社会福祉協議会などと連携をとり、図書館利用に障がいのある人へのサービスを行っています。
- ・ 平成 19 年 3 月には、毎年 1 回行っている交流会を開催し、障がい者、図書館、社会福祉協議会、ボランティア団体、小平図書館友の会等と意見交換を行いました。

(1) 対面朗読

PR 用の利用案内についてボランティア交流会で確認を行いました。

(2) 録音図書（カセットテープ）の作成及び貸出

- ・ 今年度は新たな朗読テープの作成はなく、所蔵点数は、197 タイトル 1,130 巻です。
- ・ 録音図書は、国内の図書館から貸出依頼があれば郵送で貸出を行っています。今年度は 18 タイトルの貸出がありました。
- ・ 今年度の郵送貸出提供数は、503 タイトル、デイジー図書 16 タイトルです。
- ・ 障がい者及び高齢者に対し、前年度に引き続き録音図書とは別にカセットテープの貸出（1 人 5 タイトル、10 巻まで）を実施しています。

(3) 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施

視覚障がい者に対し郵送貸出を実施しました。

- ・ 録音資料 425 タイトル (1,953 巻)
- ・ 図書資料 3 点
- ・ デイジー図書 11 点
- ・ 点字資料 129 点

(4) 福祉講演会

福祉講演会「バリアフリー住宅〈居心地のよい家〉のつくり方」を11月26日(日)に開催し、18人の参加がありました。(小川西町図書館)

(5) 障がいのある児童・生徒に対する読み聞かせを見学時等に随時実施しました。

(6) 点字図書目録(点字版)及び点訳図書を作成しました。

(7) 障がい者、高齢者を対象としたCD(178点)、カセットテープ(23点)、大活字本(128冊)を購入し資料の充実を図りました。

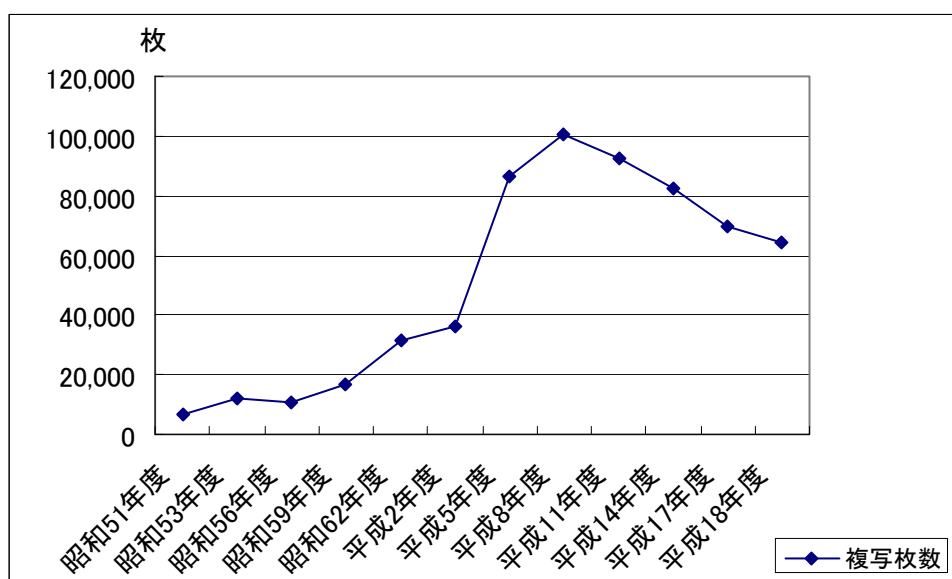
ひとロメモ

デイジー(DAISY)図書とは Digital Accessible Information System の略で、視覚障がい者用世界標準規格に基づいて CD-ROM で作成された録音図書のことで、CD-ROM 形式のため通常の音楽用プレーヤーで聞くことができないため、再生には専用プレーヤーか Windows パソコンが必要です。

16. 複写サービス

小平市立図書館では昭和51年度から複写サービスを開始しましたが、中央図書館が開館する前年度の昭和59年度までは2万枚未満で微増傾向でしたが、平成2年度から8年度にかけては急激な伸びを示し、平成8年度には10万枚を超えています。それ以降は減少の一途をたどっており、時代を反映した傾向が現れています。平成18年度の複写枚数は64,457枚でした。

【図8】 複写サービスの推移



17. リクエストサービス

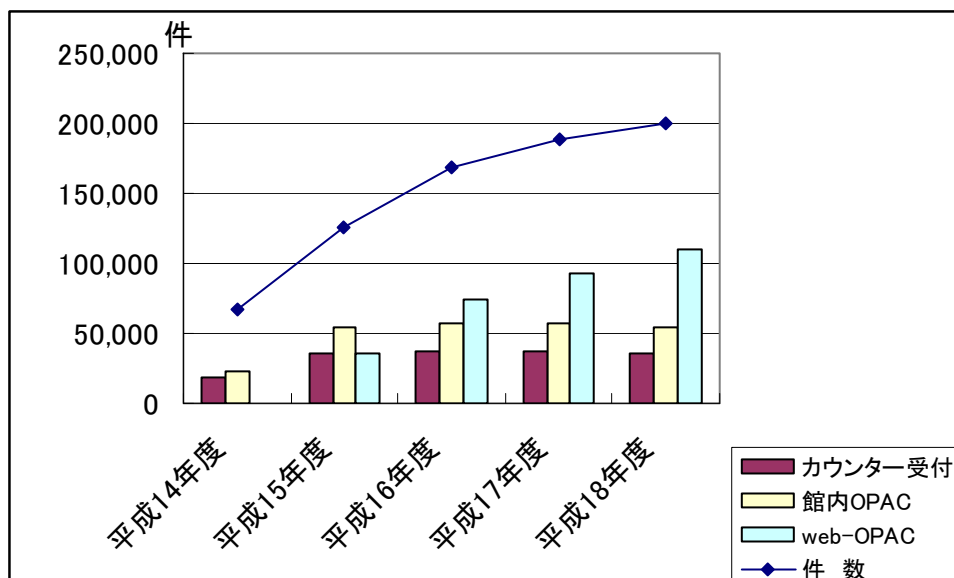
利用者の求める図書資料を提供するリクエストサービスは、増加傾向が続いています。平成14年10月からは、館内OPAC（所蔵目録の検索機器）を使っでの予約を開始し、平成15年2月からはWeb予約（インターネット予約）を開始しました。また、全件予約は平成15年7月から開始しました。これによって、小平市内の全館が、所蔵している在庫を含む図書・雑誌に対する予約が可能となりました。

表9及び図9で明らかなように、平成14年度から18年度のリクエスト件数の伸びは総数では3倍になっていますが、伸び率は落ち着いてきています。また、カウンター受付、館内OPACは平成15年度から平成18年度の間ほぼ平行線を描いていますが、Web-OPACでの予約は伸び続けています。

【表13】 リクエスト件数の推移

年 度	カウンター受付	館内OPAC	Web-OPAC	総件数	前年度比
平成14年度	18,653件	23,167件	532件	67,754件	138%
平成15年度	35,402件	54,672件	35,100件	125,174件	184%
平成16年度	36,827件	57,651件	73,886件	168,364件	134%
平成17年度	36,871件	57,590件	93,412件	187,873件	112%
平成18年度	36,005件	54,897件	109,299件	200,201件	107%

【図9】 リクエスト件数の推移



なお、未所蔵資料については、東京都立図書館から2,663冊、多摩六都からは953冊、その他の多摩地区の自治体からは1,372冊、23区から206冊、他県から3冊、国会図書館からは6冊の計5,203冊を借用することによって対応しました。

18. 図書館関係団体に対する援助・連携

- (1) 小平市子ども文庫に対する補助金（平成18年度は285,000円）
- (2) 小平市子ども文庫連絡協議会、小平図書館友の会とはそれぞれの特徴を生かした講演会を共催で行いました。

① 小平市子ども文庫連絡協議会との共催

日 時：平成 18 年 11 月 25 日（土）午後 2 時～4 時
 会 場：中央図書館
 演 題：「絵本から物語の世界へ」
 講 演：上橋菜穂子さん（児童文学作家）
 参加者：77 人

② 小平図書館友の会との共催

日 時：平成 18 年 6 月 11 日（日）午後 2 時～4 時
 会 場：中央図書館
 演 題：ビデオ上映と講演『杉原知畝命のビザ』
 講 演：浜島正士さん（国立歴史民俗博物館名誉教授、別府大学文学部教授）
 参加者：96 人

③ 小平図書館友の会との共催

日 時：平成 18 年 11 月 19 日（日）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
 会 場：中央図書館
 演 題：若山牧水と旅
 講 演：渡部芳紀さん（中央大学教授）
 参加者：62 人

19. 図書清掃の実施

利用者に、図書を気持ちよく借りていただくため、図書館サービスの一環として、返却本のエタノール消毒を行っています。平成 18 度は、下記の内容でシルバー人材センターに業務委託して実施しました。

【表 14】 図書清掃（消毒）の実施状況

館 名	実施時間・曜日	
中央図書館	9 時 ～ 12 時	火・水・木・土
	9 時 ～ 15 時	月・日
仲町図書館	13 時 ～ 16 時	水・土
	13 時 ～ 15 時	月
花小金井図書館	9 時 ～ 12 時	火・木・土・日
小川西町図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土
喜平図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・日
上宿図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土
津田図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土
大沼図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土

20. 施設の運営管理

(1) 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理

図書館及び東部・西部市民センターを、市民の方々が気持ちよく安全に利用していただくために、定期的に各施設や設備の点検を行いました。

この点検により、いくつかの不具合箇所が早期に発見でき、補修及び修繕を行いました。

(2) 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）

集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成 18 年度の利用は、喜平図書館で 510 件、上宿図書館で 282 件、合計は 792 件でした。

【表 15】 集会室貸出推移

年 度	喜平図書館	上宿図書館	合 計
平成 16 年度	429 件	295 件	724 件
平成 17 年度	503 件	265 件	768 件
平成 18 年度	510 件	282 件	792 件

(3) 各図書館の施設・設備改修計画の見直し

平成 18 年度には次のような修繕を行いました。施設修繕が年々増えてきています。

特に、施設老朽化等による高額な修繕が目立っており、10 万円以上の経費を必要とした修理は 40 件中 14 件ありました。今後は、優先順位を決めて施設・設備改修計画及び修繕計画を進めます。

【表 16】 修繕等の実績

館 名	件数	修理内容 (10 万円以上のもの)
中央図書館	7	水銀灯修繕、排煙口修繕、
仲町図書館	5	冷房機修繕、空調機修繕、雨漏り修繕、玄関自動ドア修繕
花小金井図書館	1	
小川西町図書館	13	ボイラー用ポンプ修繕、ブラインド修繕、じゅうたん交換
喜平図書館	4	トイレ及びトイレタイル修繕
上宿図書館	5	空調機器修繕、エレベーター修繕
津田図書館	4	
大沼図書館	1	
合 計	40	

※ 花小金井図書館、小川西町図書館は市民センターの修繕を含む。

21. 蔵書管理

(1) 未返却図書の督促

- ・ 借用者に対する未返却図書返却のお願いを、1 月と蔵書点検月の 6 月を除き年 10 回発送しました。
- ・ 長期延滞者とリクエスト資料の延滞者に対しては電話による督促を行いました。
- ・ 貸出時に未返却資料のある方に対しては、随時督促を行いました。

(2) 図書の整理・修理

- ・ 長期にわたる保存や頻繁に行われる貸出や交換便移動等により、新しい資料等であっても経年劣化し、汚損・破損を受けるものが多いが目立ちます。
- ・ 新規に買い替えの他、絶版等により新規購入ができないもの等について、手作業で補修・修理等を施して資料の確保・保存・貸出に対応しました。
- ・ 中央図書館での作業の一部は、図書館ボランティアによって実施しました。

【表 17】 資料等補修・修理実績

内 訳	件 数
ボランティア	1,634
資 料 係	1,399
合 計	3,033

(3) 図書の選書・発注・受入

児童・一般の各館担当者が、選書を行い、週1度、選書会議を行っています。

現在、小平市図書館の資料は、(株)図書館流通センター・小平書店会・紀伊国屋書店及び直販から購入しているが、発注から装備納品まで1週間程度と、スピーディな受け入れに努めています。

(4) 除籍図書・寄贈図書のリサイクル

① 除籍図書

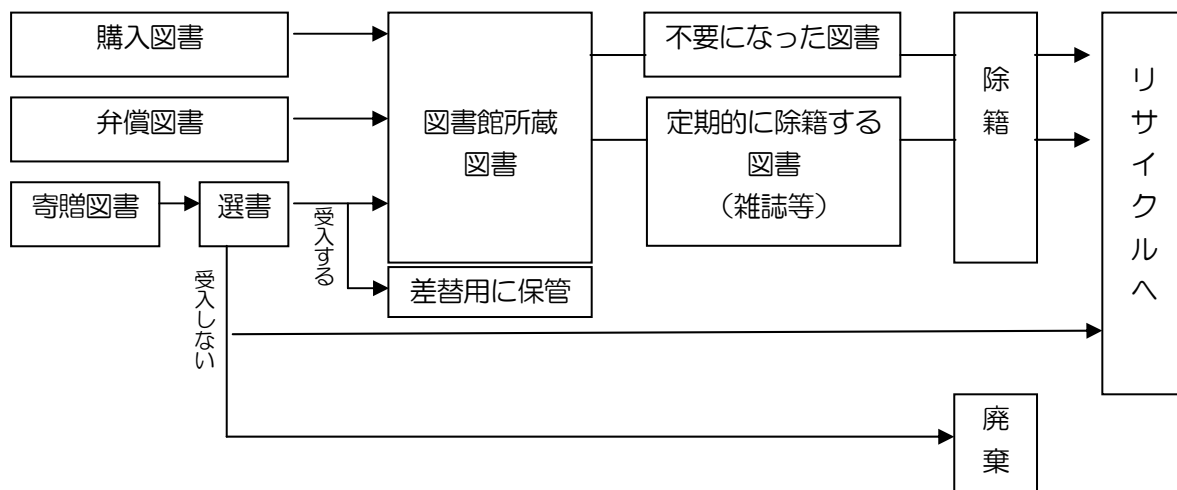
図書館資料はさまざまな理由で壊れたり汚れたり、内容が古くなって使えなくなってしまうことがあります。また、貸出や交換便による移動等によって、徐々に傷んでいくため、資料の状態に応じて除籍・廃棄していく必要があります。また、書架の収容能力にも限界があるため、随時資料の点検と再評価を行って、計画的な除籍・廃棄を行っています。

② 寄贈図書の受入とリサイクル

寄贈図書のうち平成18年度に図書館資料として受け入れたのは、3,438冊です。

図書館資料として受け入れなかった寄贈図書は、各館で随時リサイクル資料として市民に提供しています。

【図10】 除籍図書・寄贈図書のリサイクルの流れ



【表18】 除籍件数

除籍の内訳	件数
複本・不要	32,070
亡失	2,755
汚損・破損	2,609
紛失	253
合計	37,687

③ ブック・リサイクル事業

ブック・リサイクル事業は3回実施し、除籍資料の内複本・不要除籍の資料を提供しました。提供した資料の合計は28,832冊でした。

この事業によって、図書館が所蔵する資料を絶えず更新し、書架スペースの確保に努め、効率的な蔵書管理を図りました。さらに、リサイクルという時代の要請に応え、資源の有効活用を目指しています。

【表19】 ブック・リサイクル事業の実績

開催日時	対 象	提供した冊数
平成18年10月21日(土)	一般書・文学書	12,129冊
平成19年1月20日(土)	雑誌・週刊誌	11,406冊
平成19年2月17日(土)	一般書・文学書	5,234冊
合 計		28,832冊

(5) 蔵書管理基準の再検討

より多様な図書資料をそろえるために各図書館が重点収書や分担収集を行っています。これらについて現状を考慮し、平成18年度は以下の再検討を行いました。

- ・ 出版有無の再確認、また、出版されなくなった文庫・新書の収集分担表からの削除。
- ・ 予約の目立つ文庫・新書についての収集館の追加。
- ・ 出版頻度、リクエスト等が増加した、その他文庫扱いの文庫の、収集分担表への追加。さらに、旅行ガイドについても収集館の割り振りを見直しました。

2.2. 職員研修機会の拡充

(1) 司書講習への派遣

図書館職員としての専門的知識と技術を習得するため、3名の職員を派遣し、図書館職員の資質の向上を図りました。

【表20】 司書講習先及び期間

講 習 先	講 習 期 間
亜細亜大学	平成18年7月22日～9月19日

(2) 実務研修・各種研究会への参加

東京都多摩地域公立図書館大会、図書館科（東京都市町村職員研修所）、著作権講習会（著作権協会）の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上、職員一人ひとりの知識の向上を図りました。

(3) 各種職場研修の実施

① 図書館職員研修会

全館の全職員を対象に年4回（4月・7月・10月・12月）の図書館職員研修会を開催し、毎回テーマを設定して図書館事業の意義や課題について研修を深めるとともに、専門研修参加職員からの指導、報告及び職員を講師とした専門研修を開催しました。職員一人ひとりの小平市立図書館職員としての専門性を高めました。

【表21】 職場研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成18年4月20日	地域資料について レファレンス・障がい者・児童・貸出各サービスについて 除籍資料再活用について	全職員及び嘱託職員
平成18年7月20日	これからの図書館像 「小平市立図書館30年のあゆみ」の概説 レファレンス事例報告 「おはなし会でわらべうた」の研修報告 東京都子ども読書活動推進計画2005	全職員
平成18年10月19日	新任館長研修について 東京都図書館研究集会の報告 司書講習の報告 図書館業務の基本について	全職員
平成19年1月18日	OPACの操作方法について 東京都市町村職員研修所研修報告 実務研修「図書館科」	全職員

② レファレンス研修

職員のレファレンス能力の向上を図り、市民の地域の課題解決を支援する技術の修得のために、資料の検索技術やインターネット情報を効率的に利用する方法についての研修を実施しました。

【表22】 レファレンス研修の内容

開催日(回数)	研修内容	対象者
平成18年11月15日 11月16日 (3回)	資料検索研修 日常的に使う基本的な検索と、簡単な書誌的レファレンスに便利な都立図書館等の検索の実習	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員15名
平成18年12月21日 (3回)	資料検索研修 日常的に使う基本的な検索と、簡単な書誌的レファレンスに便利な都立図書館等の検索の実習	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員15名
平成19年2月15日 (2回)	インターネット研修 事前に演習問題を配付し、一人一台のパソコンを使った演習形式の研修	中央・地区図書館職員 12名

2.3. 実習生及び視察等の受け入れ

(1) 図書館実習生(大学生等)の受け入れ

インターンシップ制度に基づき受け入れを行いました。

平成18年8月8日～8月17日 首都大学東京3名

平成18年8月8日～8月21日 創価大学2名

(2) 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受け入れ

① 図書館見学

図書館見学は小学校3年生が主な対象で、図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施しました。今年度の図書館見学は、小学校20校の54クラス・1,644

人と幼稚園1園の3クラス・91人でした。

【表23】 図書館見学の受け入れ実績

図書館名	小学校			幼稚園		
	学校数	クラス数	人数	園数	クラス数	人数
中央図書館	4	8	264	1	3	91
仲町図書館	2	5	154			
花小金井図書館	2	8	229			
小川西町図書館	3	7	211			
喜平図書館	4	8	260			
上宿図書館	2	4	90			
津田図書館	1	2	79			
大沼図書館	2	8	254			
合計	20	50	1,541	1	3	91

② 職場体験

職場体験は主に中学生を対象に受け入れをしました。カウンター業務を中心に、図書排架、図書整理等を体験してもらいました。今年度の職場体験は、小学校2校の7人と中学校7校の26人でした。

【表24】 職場体験の受け入れ実績

図書館名	小学校数	人数	中学校数	人数
中央図書館			4	11
花小金井図書館	1	4	2	6
小川西町図書館			1	3
喜平図書館			2	4
津田図書館	1	3	1	1
大沼図書館			1	1
合計	2	7	7	26

24. 広報活動

(1) 夏休み家族一日図書館員の開催

今年で16回目の事業を、中央図書館と地区館で実施しました。

日時 平成18年7月23日(日) 午前9時～正午

会場 中央図書館、地区図書館(7館)

参加者 9家族(22人)

(2) 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布

図書館紹介・利用案内・図書館カレンダーについては、毎年見直しを行っています。今年度は次のような改定を行いました。

- ・ 図書館カレンダーを定期券入れに入る大きさに変更しました。
- ・ 多摩北部都市広域行政圏協議会で発行している多摩六都図書館ガイドブックは、今後も内容の充実を図り発行を継続することになりました。

(3) 新刊・新着図書案内の発行

- ・ 購入等によって新しく所蔵した図書や視聴覚資料について広報するために、新着図書・資料案内を月2回中央図書館及び各地区図書館で作成し、利用に供しました。
- ・ 図書館ホームページの新着案内は週1回更新し、図3のようにジャンルごとに検索できるよ

うにしました。

(4) 市報等の活用（「図書館アラカルト」、行事等）

「図書アラカルト」は図書館に所蔵している本を、できるだけ多くの方にお伝えするために、昭和56年4月から「市報こだいら」に連載しているものです。子ども向きの本を紹介するときと大人向きの本を紹介するときがあり、毎号3～6点を図書館員が選び、コメントをつけて紹介しています。ホームページレイアウト一斉更新が遅くなったこともあり、今年度は平成18年市報掲載分のみ公開となりましたが、来年度以降、順次遡ってデジタル化して公開していきます。

(5) 図書館ホームページの整備・活用

- ・平成18年度に実施予定の図書館ホームページの更新に向け、準備を進めました。
- ・簡単な手直しについては、そのつど実施しました。

(6) 図書館だよりの発行

「小平市図書館だより」は、平成14年11月発行の54号以降休刊していました。しかし、これからの図書館は、情報化社会の進展にともない、地域の課題解決や地域の振興を図るための資料・情報の提供機関としての役割を担わなければなりません。また、市民の皆様との協働を様々な形で進める必要があり、図書館だよりの再刊を求める声も高まっていたので、平成19年1月に再刊1号としてNo.55を、3月にはNo.56を発行しました。今後も年2回の発行を実施する予定です。

25. 図書館ボランティアの参加促進

昨年度に引き続き、①図書修理等を行うグループと②古文書解読に分かれて実施しました。また、図書修理のボランティアからの要望で担当者とのミーティングを実施しました。

図書館ボランティア活動の実施結果は次のとおりです。

【表25】 図書館ボランティア活動の実施結果

仕事の内容	実施日	参加日数	参加人数
①図書の修理や除籍処理等	休館日を除く毎日	92日	94人
②古文書解読	毎週火曜日	49日	263人
合計		141日	357人

26. 学校図書館支援センター推進事業

本事業は、文部科学省の新規事業として、年度途中の平成18年6月に募集のあったものです。

教育委員会内部の調整により、「小平市子ども読書活動推進計画」の方針に沿った事業であり、昨年度に実現した学校図書館データベース化事業を活かすためにも、図書館で事業計画書をまとめて申請書を提出することにしました。

この結果、8月に全国で40地域が推進地域に指定され、小平市も指定を受け、中央図書館に学校図書館支援センターを設置し、事業を実施しました。事業の概略は次のとおりです。なお、詳細については、国に提出した中間報告書の参考資料2をご参照ください。

(1) 事業の目的

学校教育の質の向上に向けた学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、学校図書館支援センターによる学校図書館の活用・運営への支援の在り方について、実践的な調査研究を行いました。

(2) 事業の主な内容

- ① 学校図書室の活用を図るために図書館協力員の配置を行い、生徒の読書活動を支援しました。

- ② 図書館を活用した調べ学習や教科の学習を支援するための効果的な物流の在り方を検討し、図書の相互貸借実施のための調査研究を行いました。
 - ③ 学校図書館の機能を活用した学習指導や読書活動に係る調査研究を行い、学校図書館の活性化を図るため、先進市の視察等を実施しました。
- (3) 図書館協力員の配置
- ① 配置先 中学校8校
 - ② 勤務時間・日数 1日5.5時間、週3日勤務、合計週16.5時間
 - ③ 年間期間 平成18年11月6日(月)～平成19年3月15日(木)
- (4) 図書配送システムの運用
- ① 期間 平成19年1月13日(水)～平成19年3月14日(水) 9回
 - ② 対象 市立の小・中学校
 - ③ 参加 小学校：13校 中学校：4校 合計：17校
 - ④ 内容 教科学習用図書の貸出
- (5) 調査研究
- ① 調査研究会議委員の視察 3か所
 - ② 支援スタッフの研修 3か所
 - ③ 学校図書館を利用した授業計画の指導 小平第十五小学校と小平第二中学校で実施
 - ④ 学校図書館ボランティア連絡会の開催 3回

各地区図書館の事業の成果

1. 仲町図書館

昭和50年5月18日に小平市図書館として開館し、昭和60年7月1日から現在の小平市立仲町図書館の名称になりました。「利用しやすい図書館」・「親しみやすい図書館」をめざして、気軽に利用してもらえよう、図書館を利用される市民の方へ職員の側から声をかけることや、平成18年度に再刊された「小平市図書館だより」、図書館主催の講座、展示会などの案内は、資料の貸出時に直接手渡すことで図書館への関心を持ってもらえるように努めました。

(1) 仲町公民館定期講座受講者への図書館利用のPR

図書館は、読みたい資料（本）を借りるためだけでなく、調べ物など、身近な地域の情報館であることから、公民館講座を機会に図書館への関心を持ってもらい利用の促進を図るために、各講座の開校式にチラシ・資料を配布し、図書館のPRを行いました。

① 受講者への配布資料

- ・ チラシ「講座をもっと楽しく ぜひ図書館をご利用下さい」
- ・ 「こだいら図書館案内」
- ・ 「多摩六都図書館ガイドブック」
- ・ 「としょかんにきてごらん」…ジュニア講座のみ配布
- ・ 講座に関連した図書資料リスト

② PR実績

- ・ 市民講座「家庭教育」 受講者 15名
- ・ 夜間講座「初めての手話」 37名
- ・ 市民講座「朗読入門」 37名
- ・ ジュニア講座「ビーズ細工を楽しもう」 15名 全4回実施

(2) 図書館内の表示・案内を整理し、全体的にわかりやすくしてきました。平成19年度も引き続き実施していきます。

(3) 地域資料の収集・整理・保存事業

① 収集内容

- ・ 雑誌（タウン誌・ミニコミ誌）
- ・ 地域新聞
多摩地域各市及び東京都で発行する広報誌・議会報・文化施設の発行する新聞

② 平成18年度の実績

- ・ タウン誌・ミニコミ誌 22タイトル（有料のもの 14タイトル）
- ・ 広報誌 東京都及び33市町村

③ 合冊製本

過去に収集したタウン誌の製本合冊

平成18年度 10冊（6タイトル）

- ・ かんだ（神田地域情報誌）
- ・ 荻窪百点（荻窪地域情報）
- ・ 月刊日本橋（日本橋地域情報誌）
- ・ 月刊味覚春秋（銀座・麻布味覚情報誌）
- ・ 月刊KACCCE〔カッセ〕（練馬・板橋地域情報誌）
- ・ 深川（下町・江東区域情報誌）

④ 新聞切り抜き

平成16年分多摩版（朝日・毎日・読売・東京・産経）の切り抜き・製本

※ 所蔵は中央図書館

⑤ PR事業

- ・ 多摩各市町村広報誌等の収集・ファイルを分かりやすい表示に改良しました。
- ・ 1階の新刊タウン誌のタイトル数を増やし、利用促進を促しました。

(4) 仲町児童サービス

① 展示

季節に合わせて、児童書（絵本）を2階南側に展示し、利用の促進を図るとともに、子どもを中心として楽しめる工夫をしました。

【表26】 18年度展示実績

月	テーマ	月	テーマ
4月	こだいら子ども読書の日の本	10月	ハロウィン・魔女・お化けの本
5月	みどりの本	11月	秋の本
6月	カエルと雨の本	12月	クリスマスの本
7月	七夕と星の本	1月	お正月といのししの本
8月	夏の本	2月	雪の本
9月	月とウサギの本	3月	春・ひな祭りの本

② 学校へのPR

担当小学校である小平第二小学校、小平第十四小学校には、上記の季節の本のお知らせや、仲町図書館のおはなし会のある日を記したカレンダーを配布し、利用の促進を図りました。

③ 児童図書の蔵書管理

- ・ 平成18年度から、紙芝居のケースの劣化に伴い、ケースの入替を進めています。平成19年度中に開架分は完了する予定です。
- ・ ノンフィクションの本のラベルの劣化・色落ちに伴い、ラベルの修理を進めています。

2. 花小金井図書館

(1) 花小金井図書館（東部市民センター）移転開館事業

花小金井図書館は昭和54年4月1日に開館し、平成17年度の移転事業を経て平成18年5月8日にリニューアルオープンしました（4月1日から5月7日は休館）。

施設は、屋上緑化、太陽光発電、風力発電など環境に十分配慮した特徴を持ち、断熱効果やエネルギー節減により温室効果ガス削減を目指しています。また、雨水貯留槽を設置しトイレの洗浄水に使用しています。さらに2階、3階のテラスに読書スペースを設け、屋外という自然の中で読書が楽しめます。

5月の開館以来、利用は大幅に増え続け、平成18年度の貸出資料数は約1ヶ月の間休館したにもかかわらず、207,914点で平成17年度の191,543点を上回りました。

(2) リーフレット収集事業

リーフレット収集事業では、スーパーのチラシや求人広告など小平市内の宅配新聞の中に折り込まれているチラシを32の件名に分類し、約2,000枚を収集しました。今後は分類別に分けたチラシを10分冊に製本し保存します。

この製本されたリーフレット資料が図書館に所蔵されていることを市民にPRする目的で、1月に過去と現在の比較展示コーナーを設けました。

3. 小川西町図書館

昭和55年7月1日に開館した小川西町図書館は、平成18年度は小平市立図書館のネットワークを構成する地区図書館の一つとして、事業計画に基づき各種事業を展開し、多様化する市民ニーズに応え、地域の市民を中心に図書館資料の利用増進と学習の場の拡大に努めました。

(1) 展示会等の開催

館内の展示コーナーにおいて、視力に障がいのある人のための点字図書や、障がいのある子どものための布の絵本・布の遊具等の展示を通年実施するとともに、子ども読書の日関連展示「小平子ども読書月間」を開催しました。

(2) 障がい者サービス

図書館利用に障がいのある人や高齢者の利用の増進を図るため、福祉講演会「バリアフリー住宅く居心地のよい家」のつくり方」を開催しました。

また、視覚障がいのある人に対し録音図書・点字図書・点訳絵本の貸出を実施するとともに、障がいのある子どもやグループに布の絵本の貸出を行い、郵送による録音図書貸出の実施によりサービスの促進を行いました。

4. 喜平図書館

昭和56年6月27日に開館した喜平図書館は、小平団地の東南の角にあり、明るい環境の中で地域の利用者が気軽に利用できる図書館です。

(1) 教科書

小・中学校用教科書は、開架フロアに展示し、貸出・閲覧を行っています。なお、中学校の教科書は平成18年度に改訂されました。平成18年度の小学校教科書の貸出数は113冊、中学校教科書の貸出数は45冊でした。

【表27-1】 小学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数	点数	種 目	種類数	点数
国 語	5	60	音 楽	3	18
書 写	5	30	図画工作	3	18
社 会	5	30	家 庭	2	2
地 図	2	2	保 健	5	10
算 数	6	66	合 計	種	点
理 科	5	32		50	286
生 活	9	18	(16社)		

【表27-2】 中学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数	点数	種 目	種類数	点数
国 語	5	15	美 術	3	9
書 写	6	12	保健体育	3	3
社 会	8	24	技術・家庭	2	4
数 学	7	21	英 語	6	18
理 科	5	20	合 計	種	点
音 楽	2	8		47	134
			(16社)		

(2) 郷土写真資料

郷土写真資料の収集保存事業は、主に収集・保存・利用・広報の4つの要素から成立し、それぞれの事業をが有機的に連動しながら実施されています。

① 写真資料のデジタル化

平成14年度からデジタル化にするため、シルバー人材センターに委託しデータ入力を行っています。平成18年度は2,531件のデータ入力を行いました。

② 郷土写真展

郷土写真展「こだいら今昔」を行いました（上宿図書館との共同事業）。

期間：平成19年3月10日から平成19年3月29日

場所：中央図書館及び各地区館

内容：秘書広報課が所有する昭和57年撮影箇所と同一地点の今昔及び図書館が定点撮影している25年間の各図書館周辺地区を中心に展示

(3) 集会室

集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成18年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて延べ72団体が利用しています。なお、集会室の利用内訳は、次の表のとおりです。

【表28】 喜平図書館の集会室利用状況

	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	75回	67回	23回	165回
第2集会室	92回	87回	27回	206回
和室	99回	25回	15回	139回
合計	266回	179回	65回	510回

※平成18年12月19日からインターネットによる施設予約が始まりました。平成19年3月末現在で登録団体は58団体です。

5. 上宿図書館

上宿図書館は昭和57年6月6日26日に開館しました。図書以外の資料収集としては、次のような事業を実施しました。

(1) 小平市に関する新聞記事切り抜き

平成17年分として、原紙5分冊、複写2分冊（2セット）を製本しました。

*昭和55年4月から朝日、産経、東京、毎日、日経、読売について切り抜き整理・保存しています。

(2) 郷土写真資料

① 郷土写真資料の撮影保存

平成18年度には、市内92カ所（秘書広報課から寄託された写真）のポイントを撮影しました。

※秘書広報課から寄託された昭和57年撮影のポイント写真520ヶ所626枚について5年計画（平成18年度から平成22年度）で撮影します。

※図書館撮影の定点撮影は昭和56年度から平成15年度は210ヶ所、平成16・17年度は96ヶ所分の保存をしています。

② 郷土写真展「こだいら今昔」を行いました（上宿図書館との共同事業）。

期間：平成19年3月10日から平成19年3月29日

場所：中央図書館及び各地区館

内容：秘書広報課が有する昭和57年撮影箇所と同一地点の今昔及び図書館が定点撮影している25年間の各図書館周辺地区を中心に展示

(3) 集会室

平成18年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて37団体が利用しています。なお、集会室の利用内訳は、次の表のとおりです。

【表29】 上宿図書館の集会室利用状況

	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	54回	27回	11回	92回
第2集会室	63回	57回	24回	144回
和室	26回	9回	11回	46回
合計	143回	93回	46回	282回

※平成18年12月19日からインターネットによる施設予約が始まりました。平成19年3月末現在で登録団体は20団体です。

6. 津田図書館

津田図書館は、ポスター等事業の収集分担館として、小平市内で発生したもののほか、小平市の行政や市民生活に関係する外部から送付されたものを含めて、昭和62年7月4日の開館以来、組織的に収集・整理・保存しており、その実績は次のとおりです。

【表30】 ポスター等収集実績一覧表

年度	受入点数	年度	受入点数
昭和62	169	平成10	201
63	255	11	216
平成元	105	12	227
2	58	13	178
3	79	14	152
4	160	15	290
5	196	16	360
6	127	17	366
7	207	18	389
8	162		
9	358	合計	4,255

7. 大沼図書館

平成13年1月9日に開館した大沼図書館は、市民の暮らしに役立ち、身近で気軽に利用でき、親しみの持てる図書館として、事業・行事によるPRを通じ、図書館への関心を高め、利用の促進を図っています。

(1) 主な事業

- ・北は北海道から南は沖縄県まで、全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集めた27回目の「ふるさとの新聞元旦号展」を、1月20日（土）から25日（木）まで開催しました。（協力60社）
- ・児童書と一般図書それぞれ毎月テーマを決めて、テーマに関する本を別置して展示し、利用の促進を図りました。
- ・小・中学校との連携を図り、学校の総合的な学習の支援を行いました。

ブックトーク 小平第十一小学校1年生
 図書館見学 小平第七小学校3年生 164人
 小平第十一小学校3年生 90人
 職場体験 小平第六中学校2年生 1人

・地域にある施設として、六中地域ネットワーク会議（地域の子どもを地域で見守り、健全に育てる目的で、地域の学校、関係機関により立ち上げた組織、年間5回）に大沼公民館とともに出席し、図書館の事業のPR、地域の子どもの健全育成に関する情報交換を行いました。

(2) 展示

【表31】 大沼図書館の年間展示実績

月	テ ー マ	
	児 童 書	一 般 書
4月	1ねんせいの本、学校の本	児童読書週間（おはなし会で人気のあった本）
5月	お母さんの本、いぬの本	育てる
6月	お父さんの本、みどりの本	竹
7月	雨の本、雷の本	小・中学生のための「夏のおすすめ本」特集
8月	夏の本、旅行の本、戦争の本	
9月	おじいさん・おばあさんの本	月をさがしてみました
10月	秋の本	秋っていいね
11月	音楽・美術の本	園芸家（小平市在住）柳 宗民さんを偲んで
12月	クリスマスの本	冬の夜空は美しい
1月	干支の本、お正月の本	地球にやさしく…環境を考えよう
2月	雪の本、冬の本、鬼の本	わが子と向かいあって ①ちょっと困った ② 何で遊ぼう ③迷ってしまう…そんな時のヒントに
3月	春の本、花の本、ひなまつりの本	—

参 考 資 料

- 資料1 小平市図書館協議会「創造性の高い仲町図書館の開設に向けて(提言)」
(平成19年3月22日)
- 資料2 学校図書館支援センター推進事業 平成18年度中間報告書
- 資料3 平成18年度小平市立図書館事業統計(平成19年4月1日現在)
- 資料4 小平市子ども文庫連絡協議会事業報告(平成18年度)